

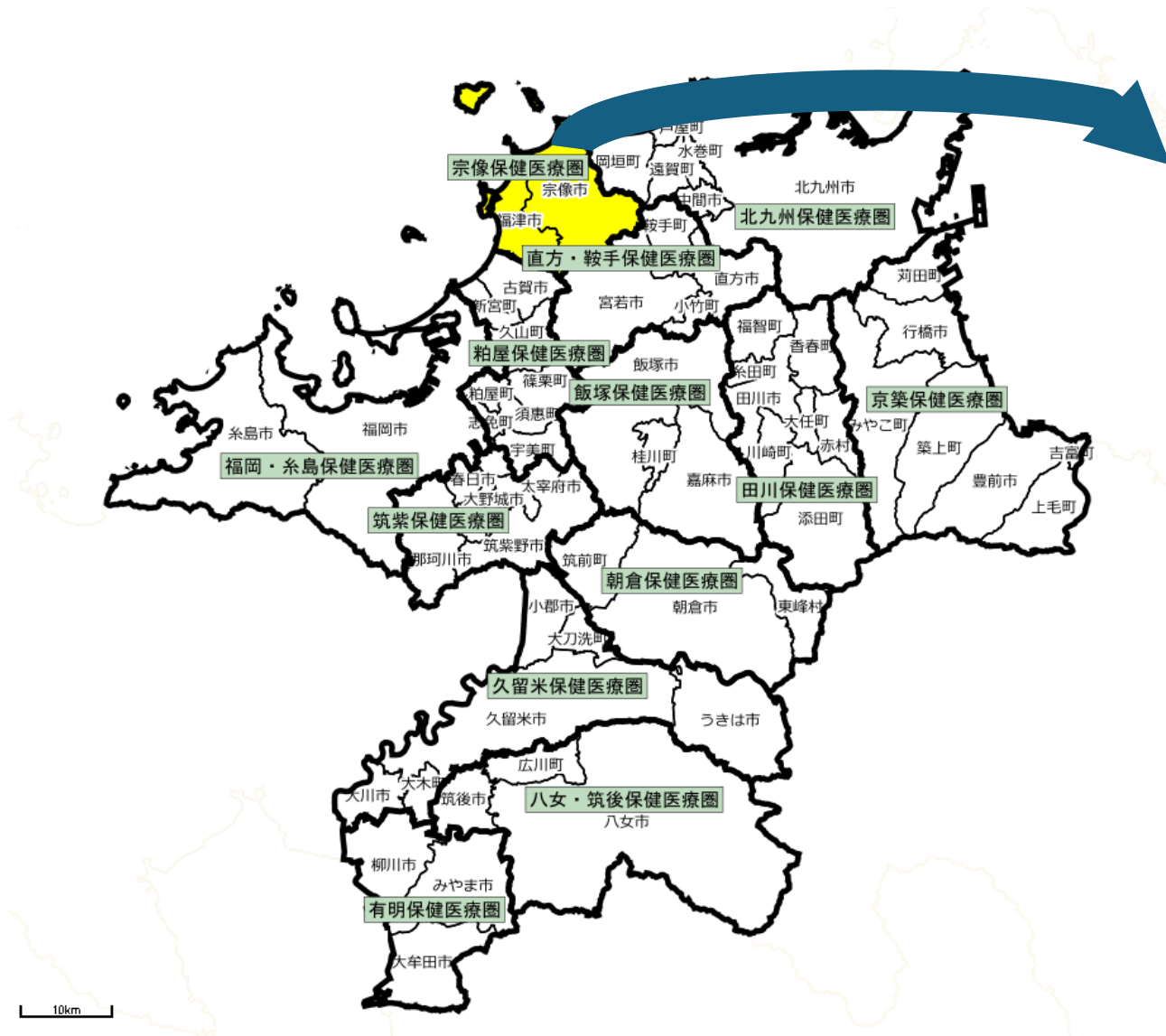
# 地区診断

—宗像区域—

# 目次

1	概要	3
2	人口の状況	4
3	出生率の状況	9
4	死亡率の状況	10
5	将来推計人口の推移	11
6	市別将来推計人口の推移	15
7	SCRの状況	17
8	患者推計	22
9	医療従事者数〔医師〕	24
10	医療従事者数〔医師・診療科〕	26
11	医療従事者数〔常勤医師〕	27
12	医療介護資源の状況	30
13	医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	32
14	在宅医療の状況	37
15	看護職員の状況	42
16	二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	44
17	二次救急及び急患センターの位置（隣接区域含む）	45
18	人口メッシュ（500m）	46
19	救急搬送の状況	47
20	救急医療電話相談利用件数	52
21	MDC別割合	53

# 1. 概要



構成市町村:2市  
(宗像市、福津市)

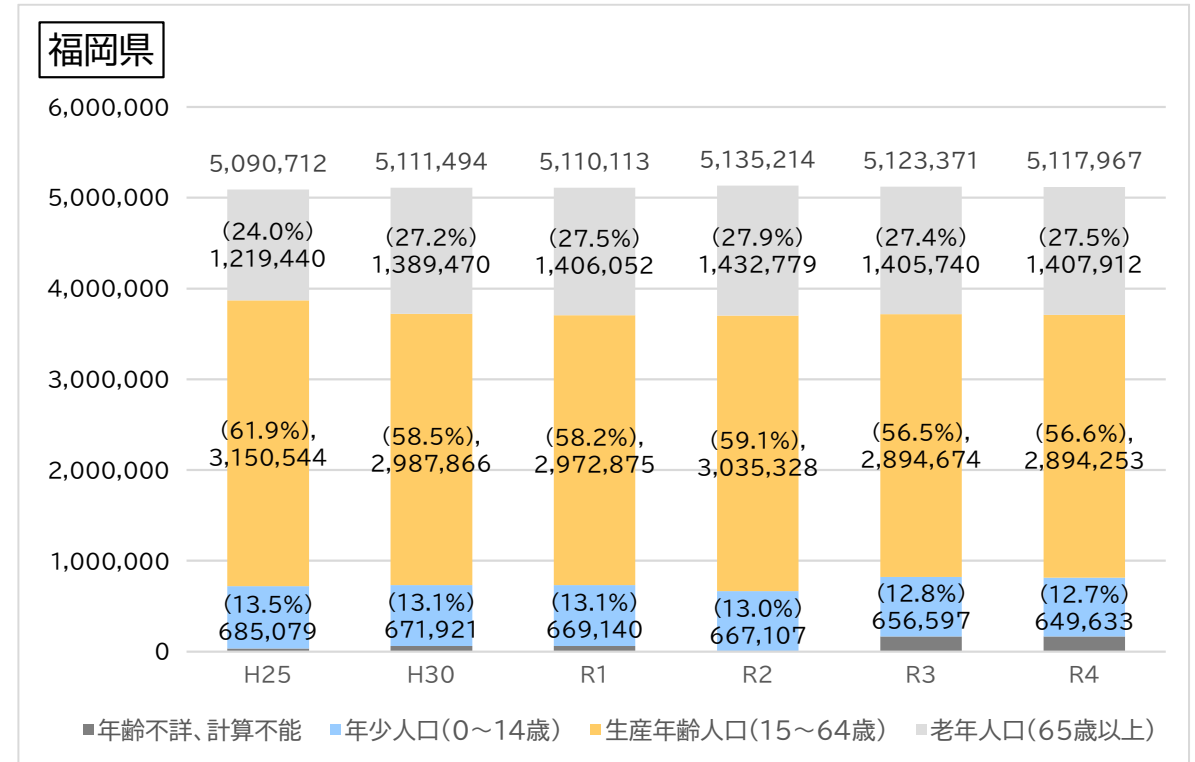
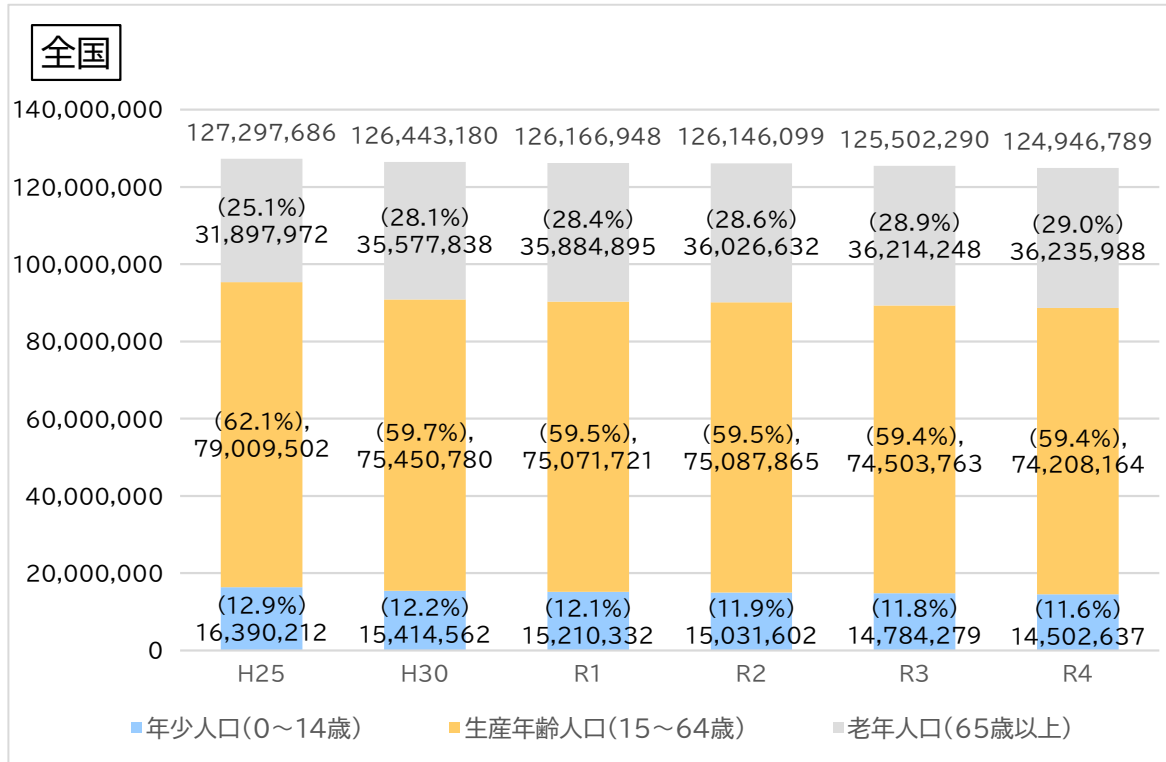
面積:172.7km<sup>2</sup>

人口:164,128人(令和2年国勢調査)  
〔うち年少人口(0~14):24,322人(14.8%)〕  
〔うち生産年齢人口(15~64):90,079人(54.9%)〕  
〔うち老年人口(65~):47,163人(28.7%)〕

出生数:1,252人(令和4年福岡県保健統計年報)  
(人口千対:7.6)※ 県平均7.1

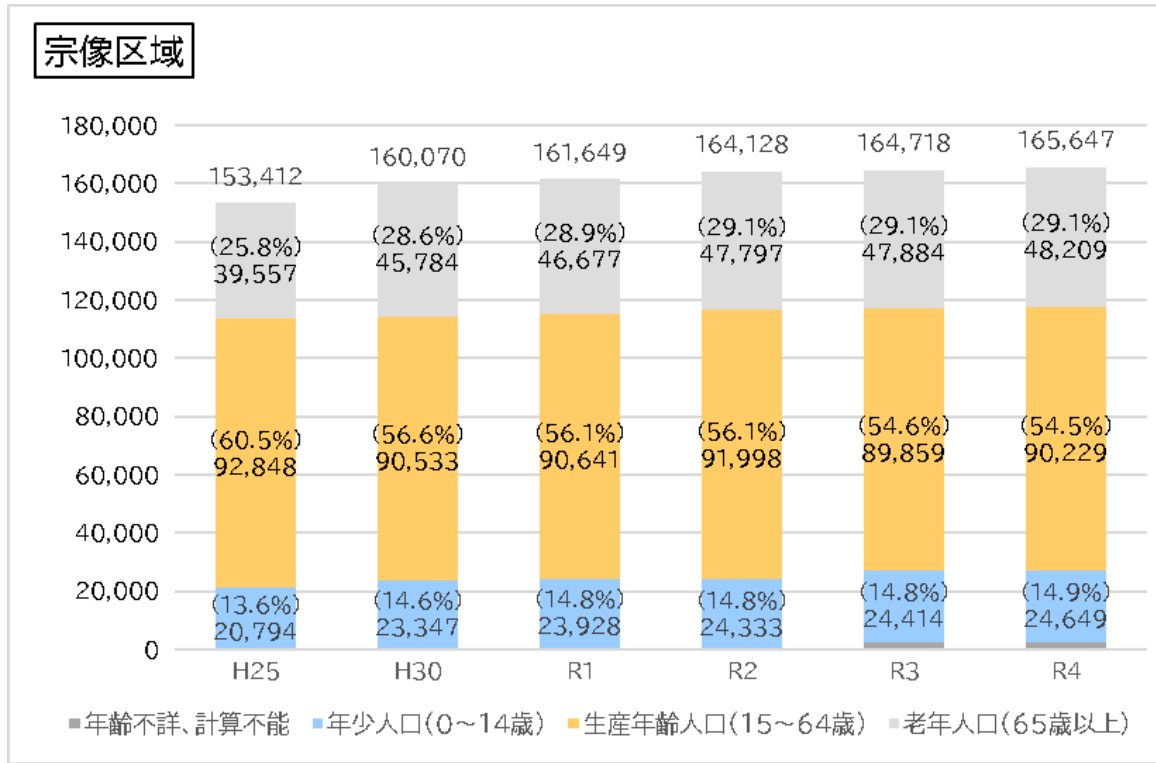
死亡数:1,866人(令和4年福岡県保健統計年報)  
(人口千対:11.4)※ 県平均12.2

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年からR4年までで、全国で3.9ポイント増加し、福岡県では、3.5ポイント増加している

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口については、増加傾向
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、老年人口、年少人口の割合はR1年以降、概ね横ばいで推移し、生産年齢人口は減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、近年、ほぼ30%で推移しているが、H25年度からR4年度までで見ると、3.3ポイント増加している
- ・各市の状況を見ると(スライド6参照)、老年人口の割合はいずれの市も30%前後で推移している

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)

### ●宗像区域の各市の状況

	H25				H30				R1				R2				R3				R4			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数
宗像市	13,135 (13.6%)	59,304 (61.5%)	23,740 (24.6%)	96,393	13,385 (13.8%)	55,529 (57.3%)	27,622 (28.5%)	96,941	13,389 (13.8%)	54,934 (56.7%)	28,161 (29.1%)	96,886	13,346 (13.7%)	55,100 (56.7%)	28,649 (29.5%)	97,095	13,238 (13.6%)	53,215 (54.8%)	28,697 (29.6%)	97,029	13,225 (13.6%)	53,195 (54.7%)	28,882 (29.7%)	97,180
福津市	7,659 (13.4%)	33,544 (58.8%)	15,817 (27.7%)	57,019	9,962 (15.8%)	35,004 (55.4%)	18,162 (28.8%)	63,129	10,539 (16.3%)	35,707 (55.1%)	18,516 (28.6%)	64,763	10,987 (16.4%)	36,898 (55.0%)	19,148 (28.6%)	67,033	11,176 (16.5%)	36,644 (54.1%)	19,187 (28.3%)	67,689	11,424 (16.7%)	37,034 (54.1%)	19,327 (28.2%)	68,467

※総数には年齢不詳、計算不能を含む

## 2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

### ●昼夜間人口

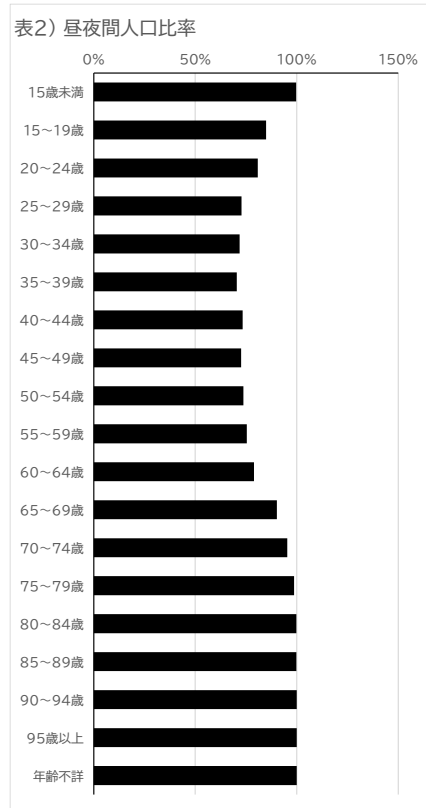
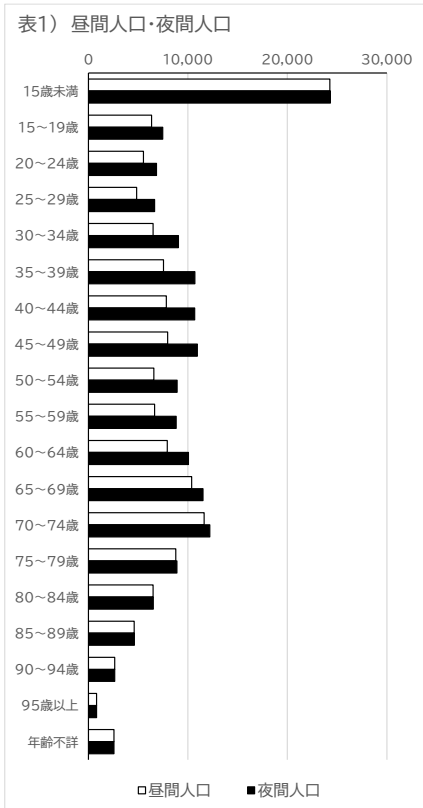


表3) 年齢別昼夜間人口

年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	139,797	164,128	77,429	86,699	-17,598	-6,733	77.3%	92.2%
15歳未満	24,263	24,322	12,395	11,927	-57	-2	99.5%	100.0%
15~19歳	6,334	7,459	3,753	3,706	-516	-609	86.3%	83.6%
20~24歳	5,518	6,831	3,285	3,546	-855	-458	74.0%	87.1%
25~29歳	4,835	6,645	3,168	3,477	-1,083	-727	65.8%	79.1%
30~34歳	6,504	9,050	4,404	4,646	-1,747	-799	60.3%	82.8%
35~39歳	7,534	10,689	5,327	5,362	-2,281	-874	57.2%	83.7%
40~44歳	7,827	10,672	5,349	5,323	-2,157	-688	59.7%	87.1%
45~49歳	7,952	10,952	5,342	5,610	-2,167	-833	59.4%	85.2%
50~54歳	6,568	8,913	4,183	4,730	-1,690	-655	59.6%	86.2%
55~59歳	6,648	8,818	4,063	4,755	-1,661	-509	59.1%	89.3%
60~64歳	7,929	10,050	4,715	5,335	-1,802	-319	61.8%	94.0%
65~69歳	10,379	11,510	5,435	6,075	-971	-160	82.1%	97.4%
70~74歳	11,621	12,193	5,688	6,505	-505	-67	91.1%	99.0%
75~79歳	8,776	8,890	4,092	4,798	-87	-27	97.9%	99.4%
80~84歳	6,495	6,510	2,719	3,791	-12	-3	99.6%	99.9%
85~89歳	4,598	4,608	1,484	3,124	-7	-3	99.5%	99.9%
90~94歳	2,643	2,643	742	1,901	0	0	100.0%	100.0%
95歳以上	809	809	160	649	0	0	100.0%	100.0%
年齢不詳	2,564	2,564	1,125	1,439	0	0	100.0%	100.0%

- ・昼夜間人口の差が最も大きい年代は「35-39歳」である
- ・昼夜間人口比率を就業の年代(25-64)で見ると、男性は50~60%台で、女性よりも男性で域外への流出傾向が強いものと思料

## 2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

表4) 昼夜間人口比率

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域内で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	19,728	25,844	12,827	19,031	6,901	6,813	0	0
	従業も通学もしていない	21,337	35,541					21,337	35,541
	不詳	12,486	12,429	1,588	1,303	1,523	1,378	9,375	9,748
	計	53,551	73,814	14,415	20,334	8,424	8,191	30,712	45,289
流出	他地域に従業・通学	23,878	12,885	21,990	11,128	1,888	1,757	0	0
流入	他地域から従業・通学	6,280	6,152	5,154	4,897	1,126	1,255	0	0

### 主な流出先

#### 【就業】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 福岡市博多区	5,653	17.07%	1 福岡県 福岡市東区	998	27.38%
2 福岡県 古賀市	4,872	14.71%	2 福岡県 福岡市博多区	561	15.39%
3 福岡県 宮若市	3,788	11.44%	3 福岡県 古賀市	455	12.48%
4 福岡県 福岡市東区	3,317	10.02%	4 福岡県 北九州市八幡西区	266	7.30%
5 福岡県 福岡市中央区	2,276	6.87%	5 福岡県 福岡市城南区	180	4.94%

#### 【通学】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 福岡市博多区	5,653	17.07%	1 福岡県 福岡市東区	998	27.38%
2 福岡県 古賀市	4,872	14.71%	2 福岡県 福岡市博多区	561	15.39%
3 福岡県 宮若市	3,788	11.44%	3 福岡県 古賀市	455	12.48%
4 福岡県 福岡市東区	3,317	10.02%	4 福岡県 北九州市八幡西区	266	7.30%
5 福岡県 福岡市中央区	2,276	6.87%	5 福岡県 福岡市城南区	180	4.94%

### 主な流入元

#### 【就業】

市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 福岡県 古賀市	2,357	23.45%	1 福岡県 福岡市東区	446	18.73%
2 福岡県 福岡市東区	1,639	16.31%	2 福岡県 古賀市	341	14.32%
3 福岡県 岡垣町	1,007	10.02%	3 福岡県 岡垣町	182	7.64%
4 福岡県 北九州市八幡西区	573	5.70%	4 福岡県 新宮町	112	4.70%
5 福岡県 新宮町	526	5.23%	5 福岡県 北九州市八幡西区	105	4.41%

#### 【通学】

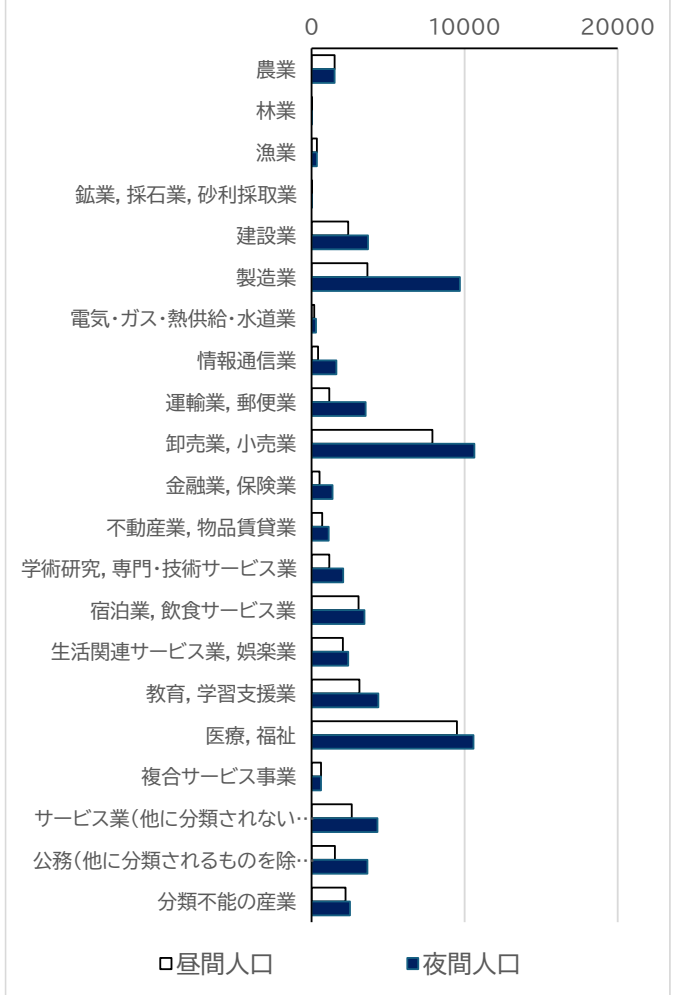
市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 福岡県 古賀市	2,357	23.45%	1 福岡県 福岡市東区	446	18.73%
2 福岡県 福岡市東区	1,639	16.31%	2 福岡県 古賀市	341	14.32%
3 福岡県 岡垣町	1,007	10.02%	3 福岡県 岡垣町	182	7.64%
4 福岡県 北九州市八幡西区	573	5.70%	4 福岡県 新宮町	112	4.70%
5 福岡県 新宮町	526	5.23%	5 福岡県 北九州市八幡西区	105	4.41%

- ・ 就業者は、男女とも流出が多い
- ・ 通学者は、男女ともに流出が多い

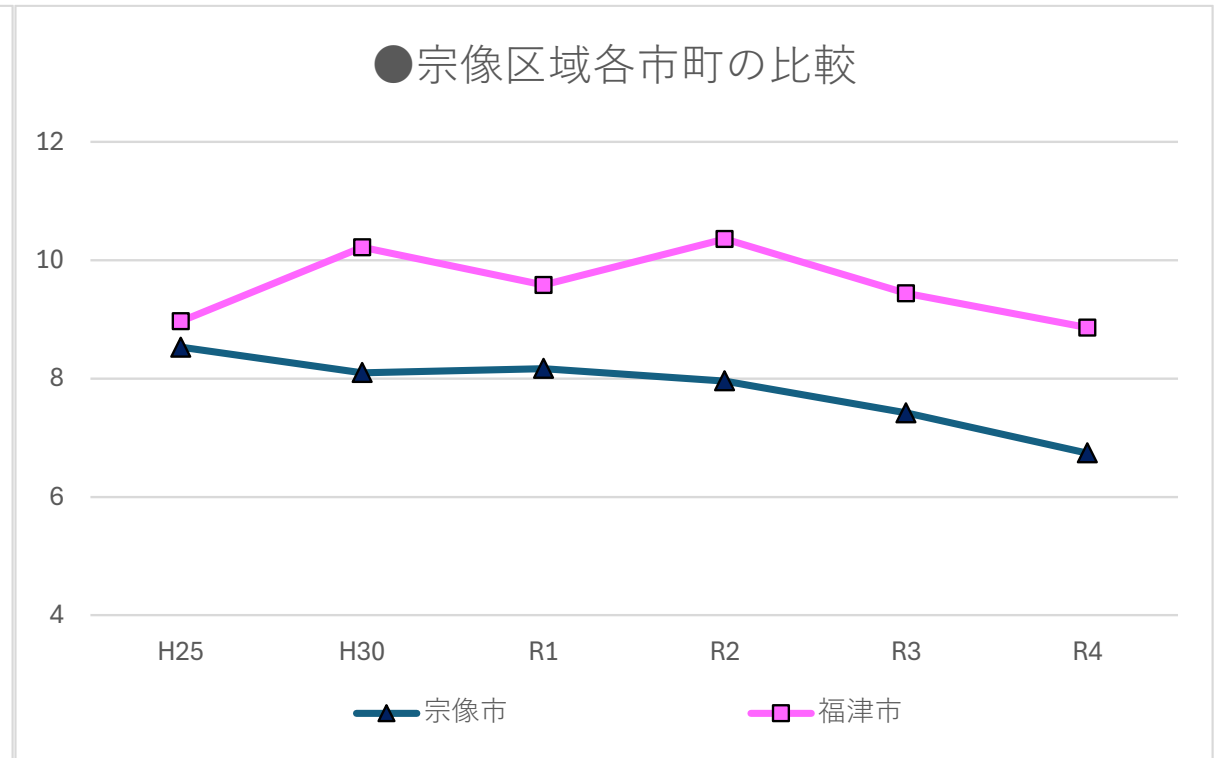
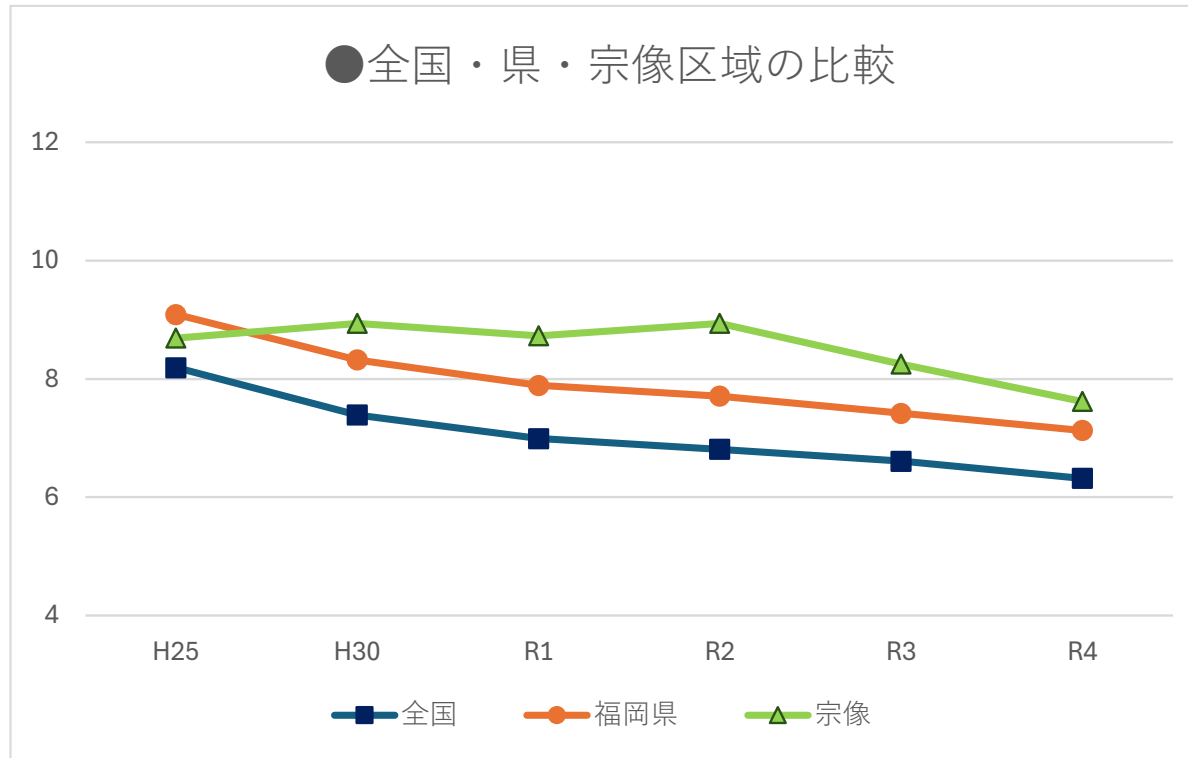
産業別に昼間人口を見ると、医療・福祉が最も多く、次いで卸売業・小売業、製造業となっている

製造業は、昼間人口よりも夜間人口が多いなど、地区内の製造業は他地区へ流出している状況がみられる

表5) 昼間人口・夜間人口

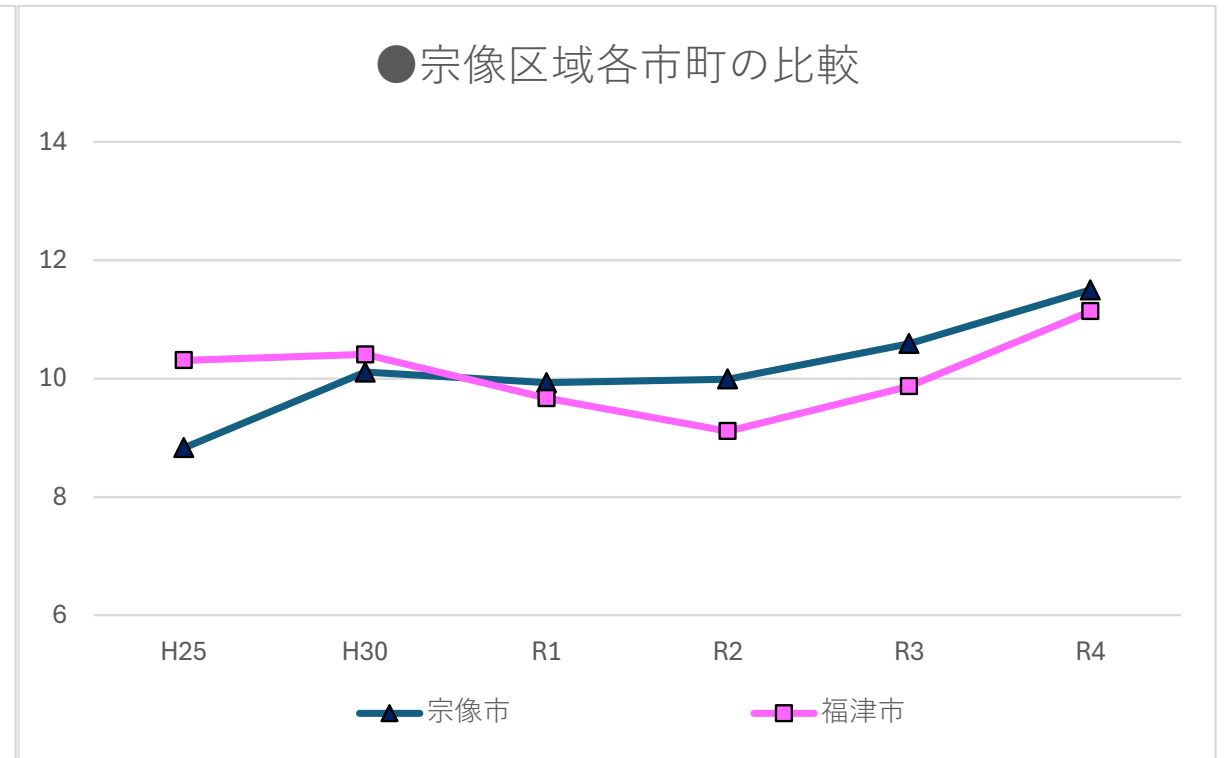
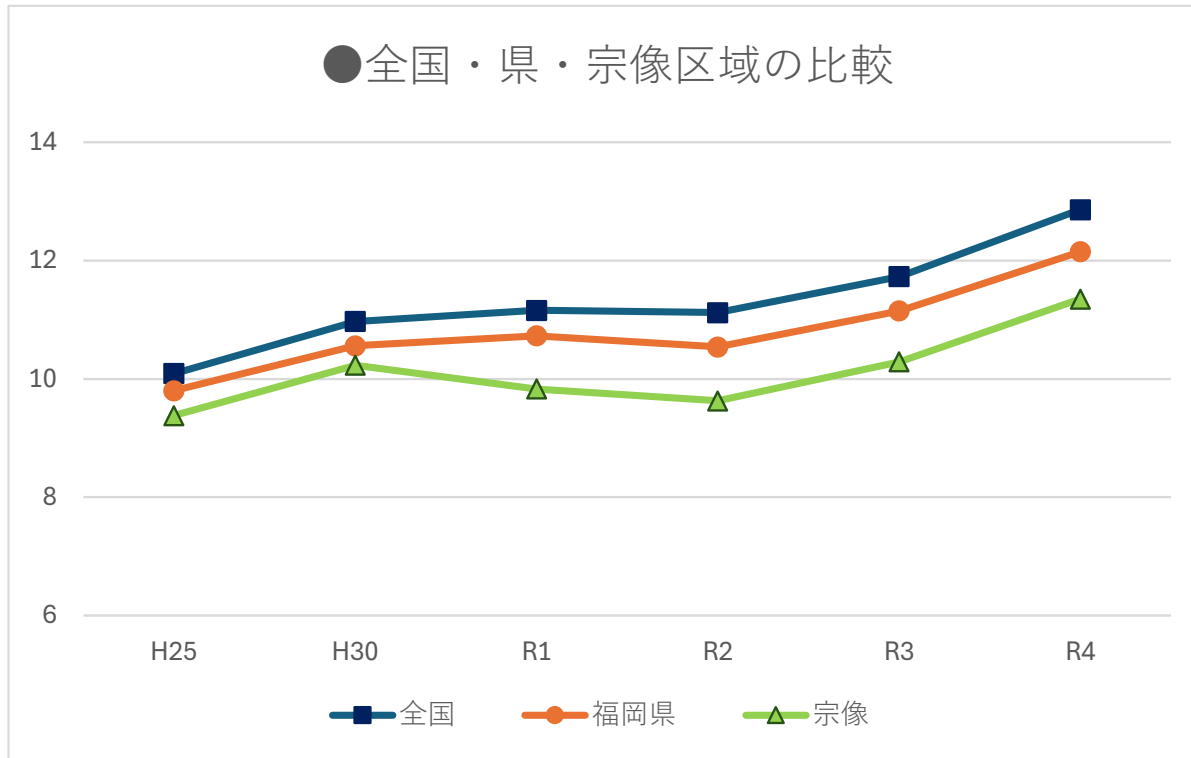


### 3. 出生率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



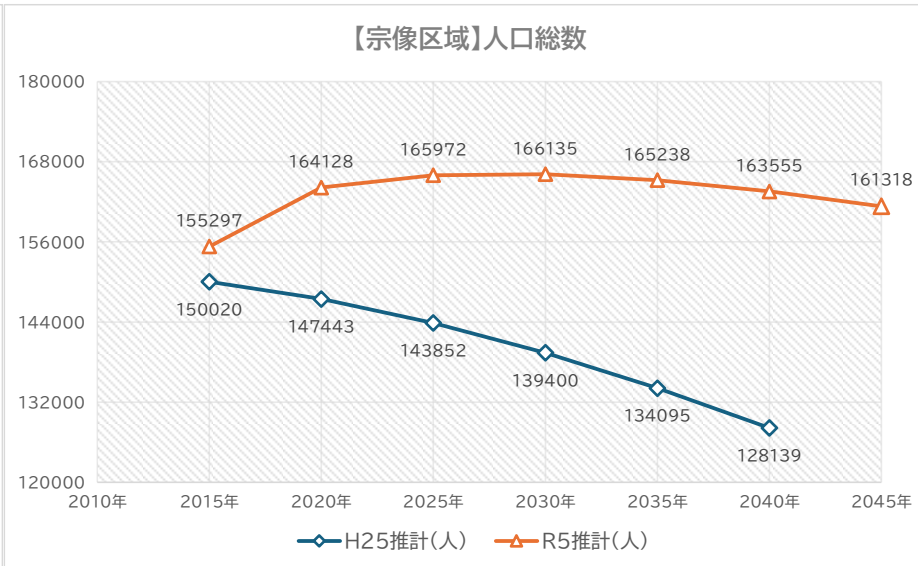
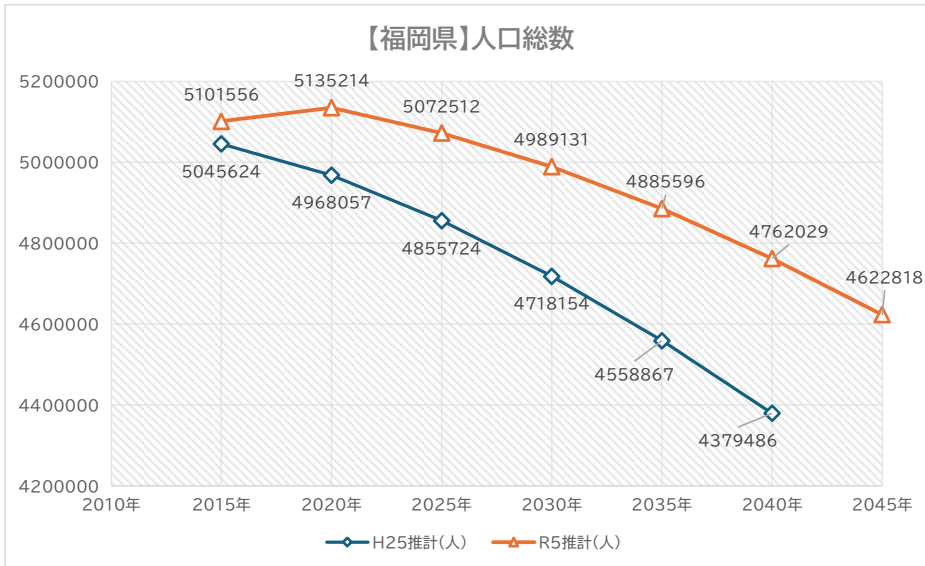
- ・出生率(人口千対)は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、宗像区域ともに低下傾向となっている
- ・市別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね低下傾向となっている
- ・R4年で出生率が県平均(7.1%)よりも高い市は福津市(8.9%)である

## 4. 死亡率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



- ・死亡率(人口千対)は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、宗像区域ともに上昇傾向となっている
- ・宗像区域は、老年人口の割合が福岡県と比較して高く、死亡率は上昇傾向にある
- ・市別に見ると、各市で異なった動きをしているが、概ね、上昇傾向にあるものと思料
- ・R4年の死亡率は、いずれの市も県平均(12.2%)よりもやや低く、宗像市が11.5%、福津市が11.1%である

## 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



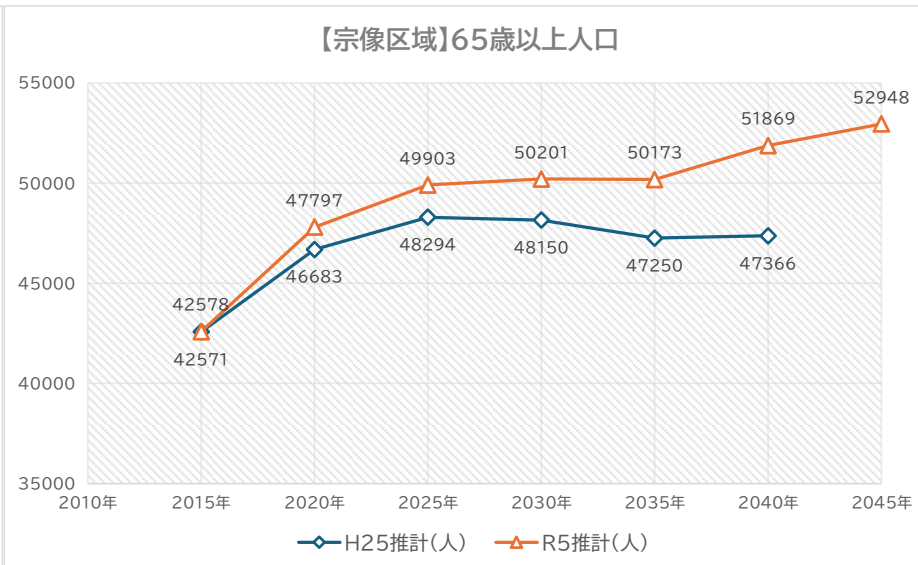
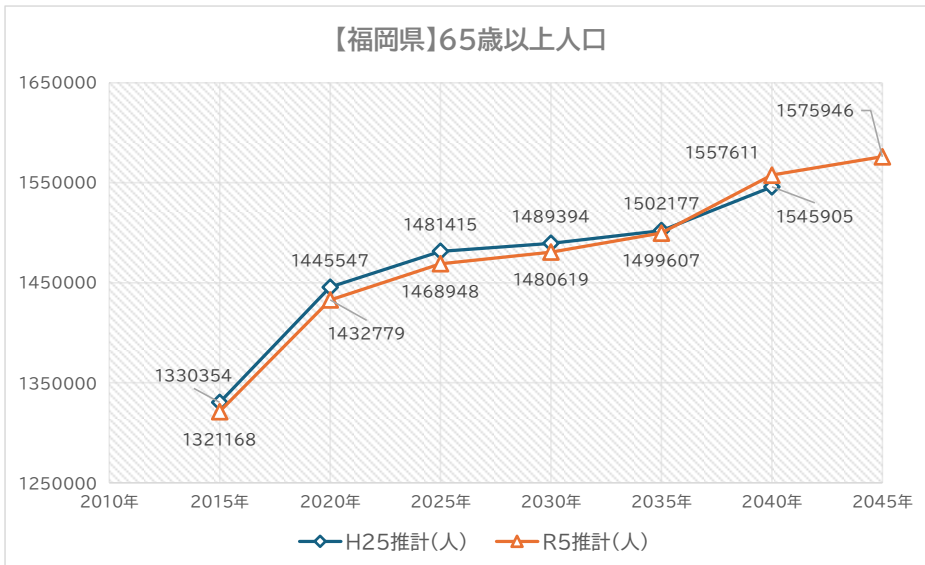
人口総数については、地域医療構想策定当時の推計(H25)と最新の推計(R5)を比べると、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

当初の推計では、2015年以降減少する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

### 【宗像区域】

当初推計との乖離が大きく、人口のピークは2030年である  
2045年の人口は2015年時点よりも多い見込み



65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

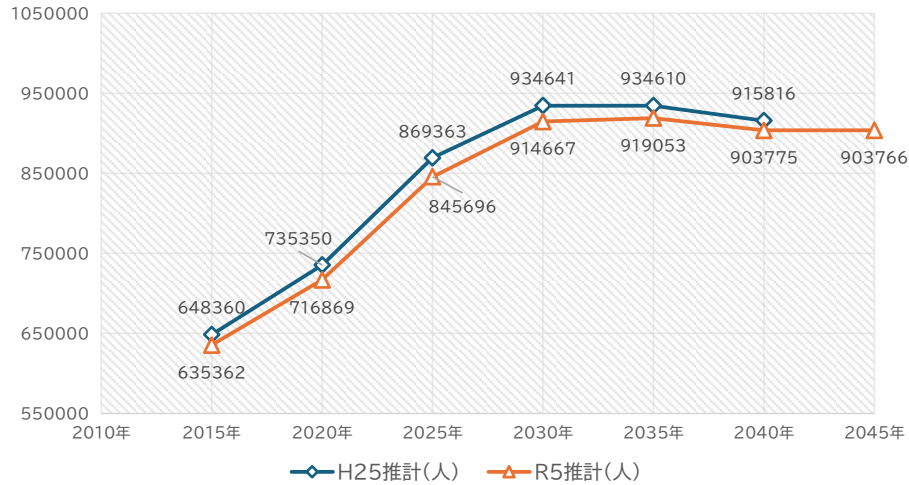
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する

### 【宗像区域】

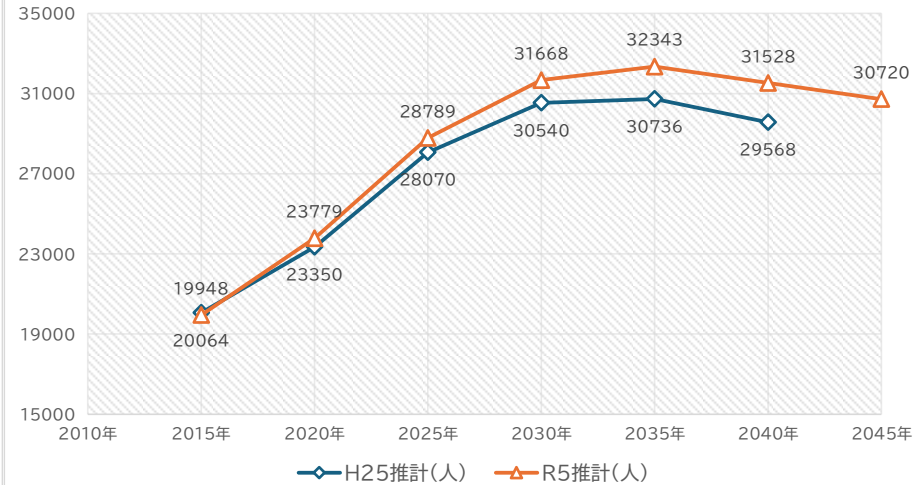
当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

## 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【福岡県】75歳以上人口



【宗像区域】75歳以上人口



75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

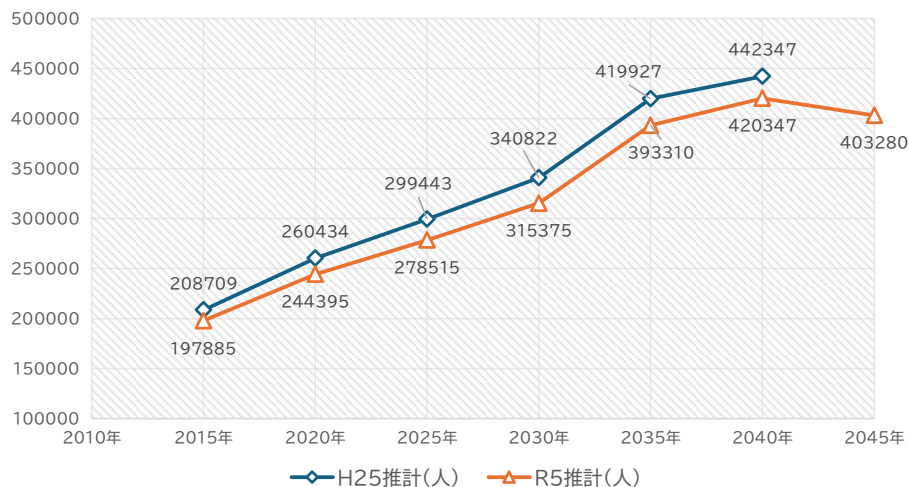
**【福岡県全体】**

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

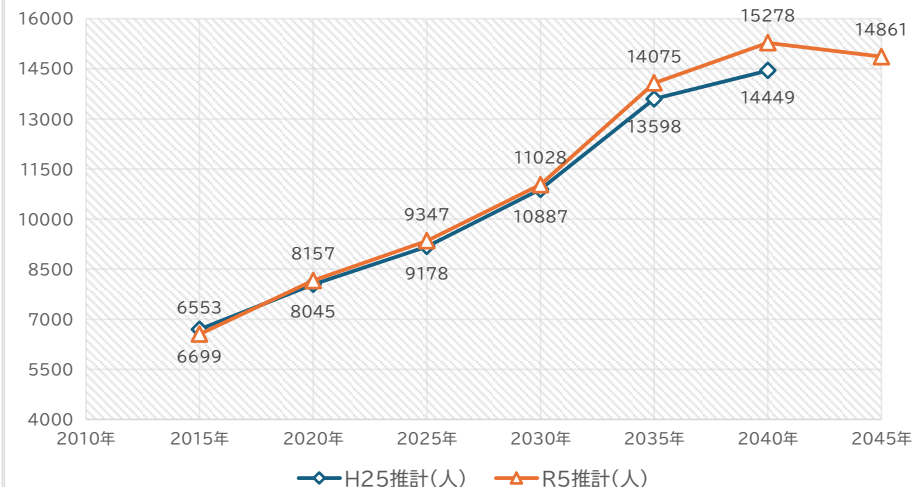
**【宗像区域】**

当初推計と同様の傾向で推移する見込み

【福岡県】85歳以上人口



【宗像区域】85歳以上人口



85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

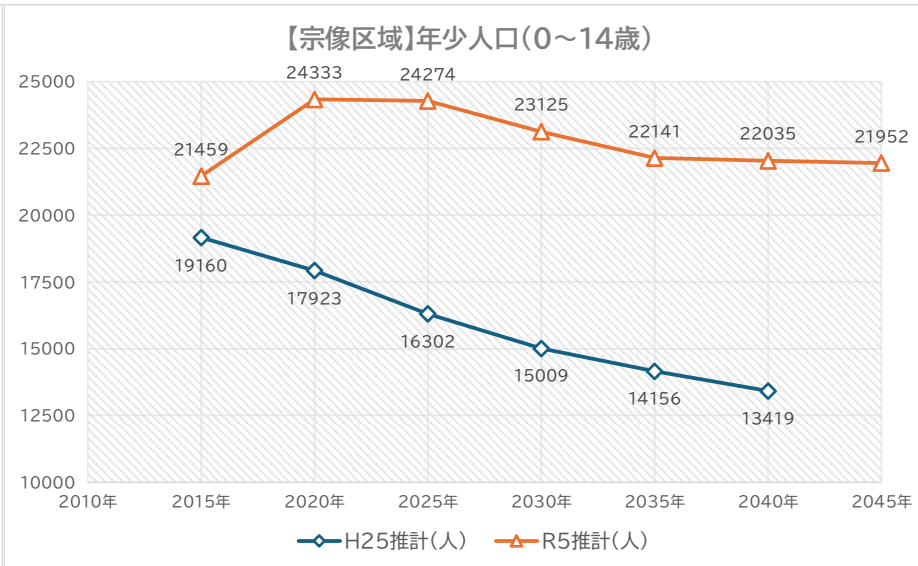
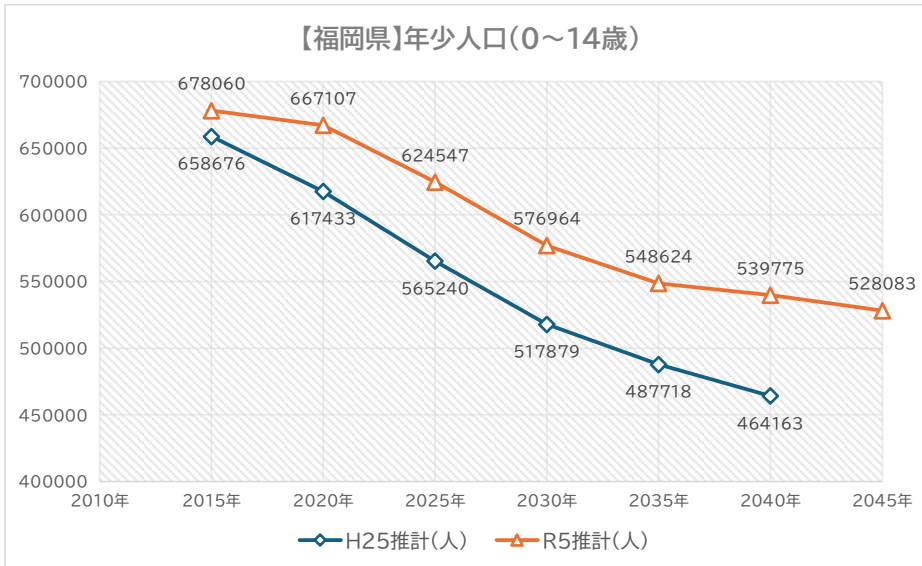
**【福岡県全体】**

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

**【宗像区域】**

当初推計とほぼ同様の傾向で推移する見込み

## 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



年少人口については、以下の状況が読み取れる

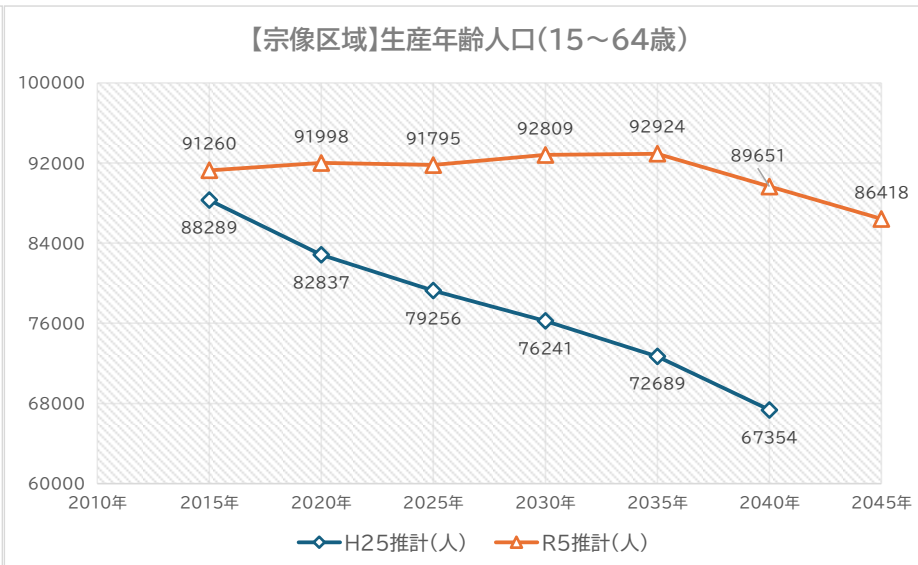
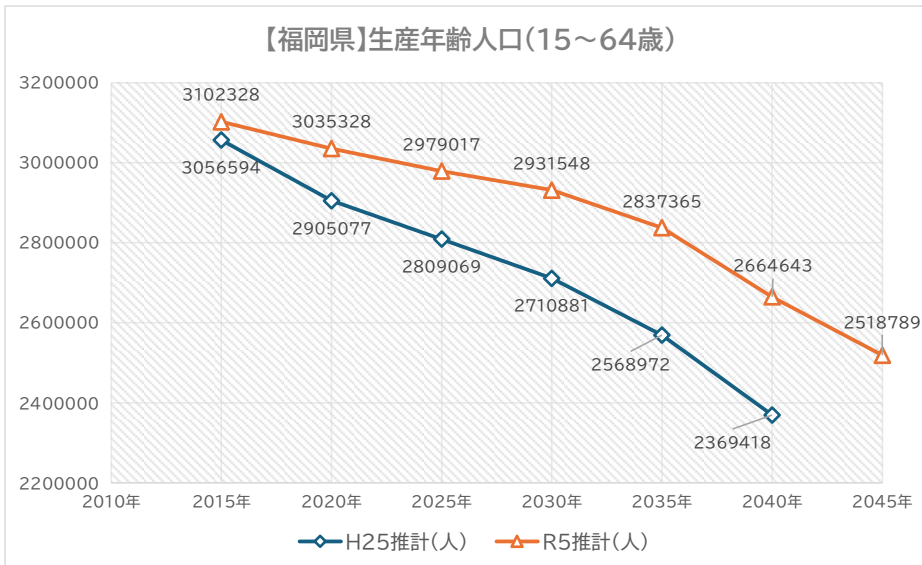
### 【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

### 【宗像区域】

当初推計との乖離が大きく、人口のピークは2020年である  
2045年の人口は2015年時点よりも多い見込み



生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

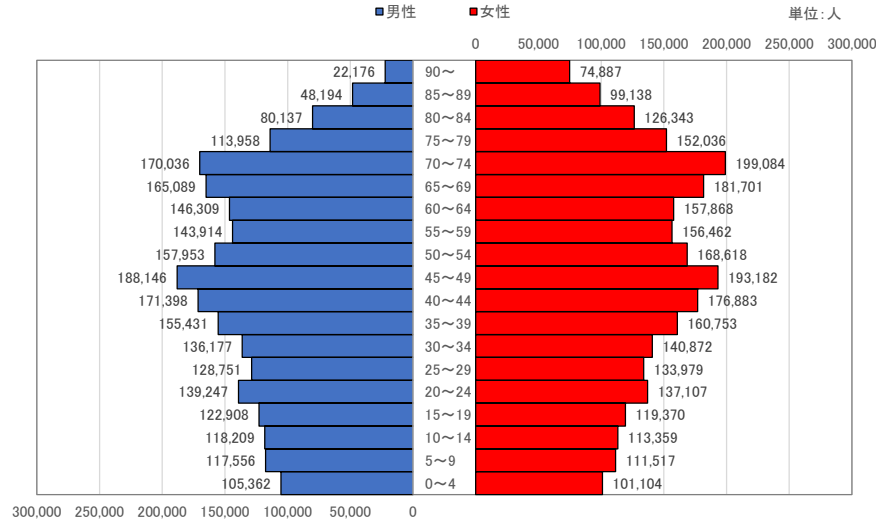
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

### 【宗像区域】

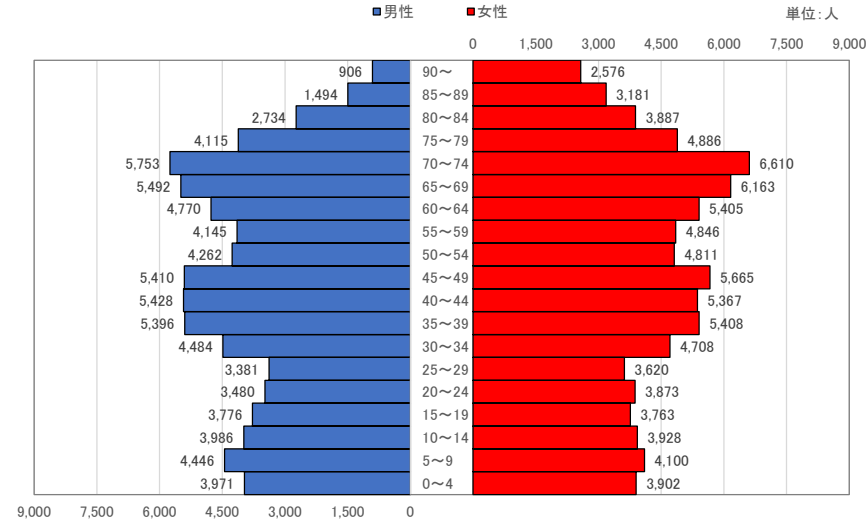
当初推計との乖離が大きく、人口のピークは2035年で、以降減少する見込み

# 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2020年】



【人口ピラミッドグラフ(宗像)2020年】



2020(令和2)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

**【福岡県全体】**

第1次ベビーブーム期にあたる71~74歳、第二次ベビーブーム期にあたる45~49歳で2つの人口の山があり、年齢が下がるにつれて人口が少なくなるつぼ型となっている

**【宗像区域】**

福岡県全体と大きな違いはないが、県全体に比較して、年少人口が一定規模の人口を維持している傾向が見られる

2040(令和22年)の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

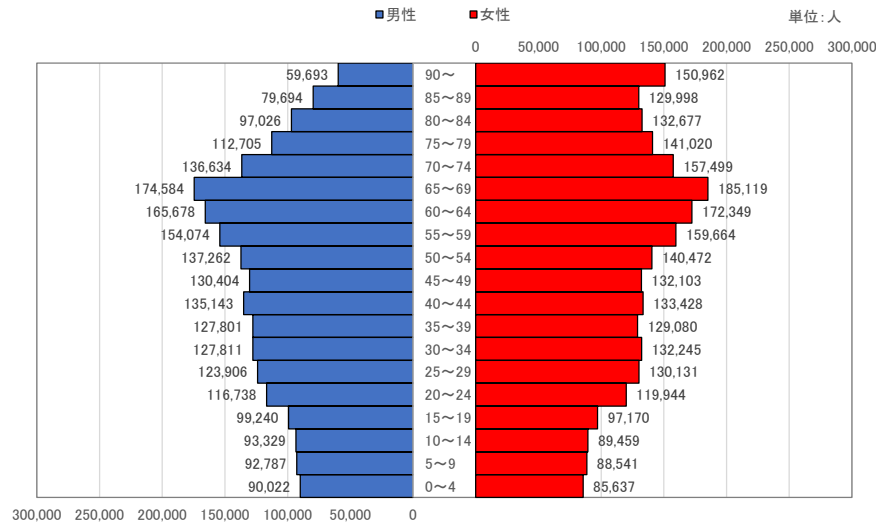
**【福岡県全体】**

ベビーブーム世代は90歳以上、65~69歳となり、この年代の人口ボリュームを一定程度維持しつつ推移するが、少子化が進むことによって、2020年に比べて年少人口が大きく減少し、より底が狭まったつぼ型となっている

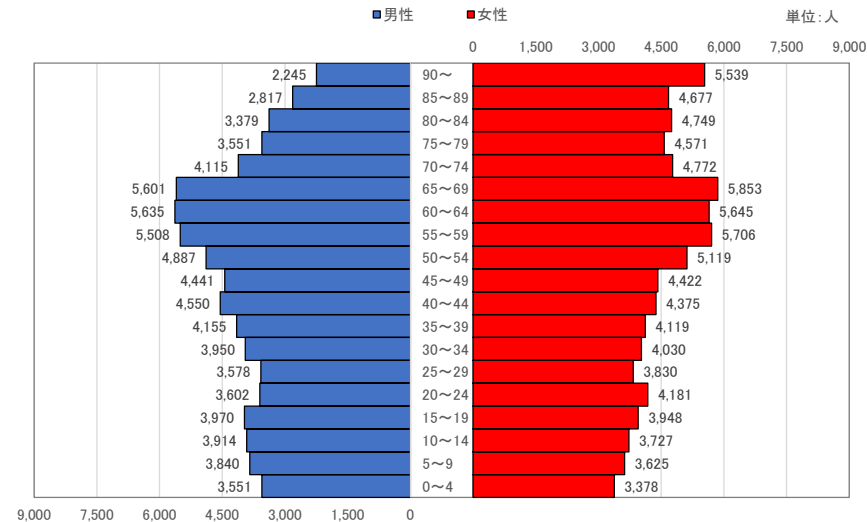
**【宗像区域】**

2020年時点に比べて少子高齢化が進み、年齢の低下とともに底が狭まった形状に変化しており、県全体と同じような傾向になっている

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2040年】



【人口ピラミッドグラフ(宗像)2040年】



## 6. 市別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

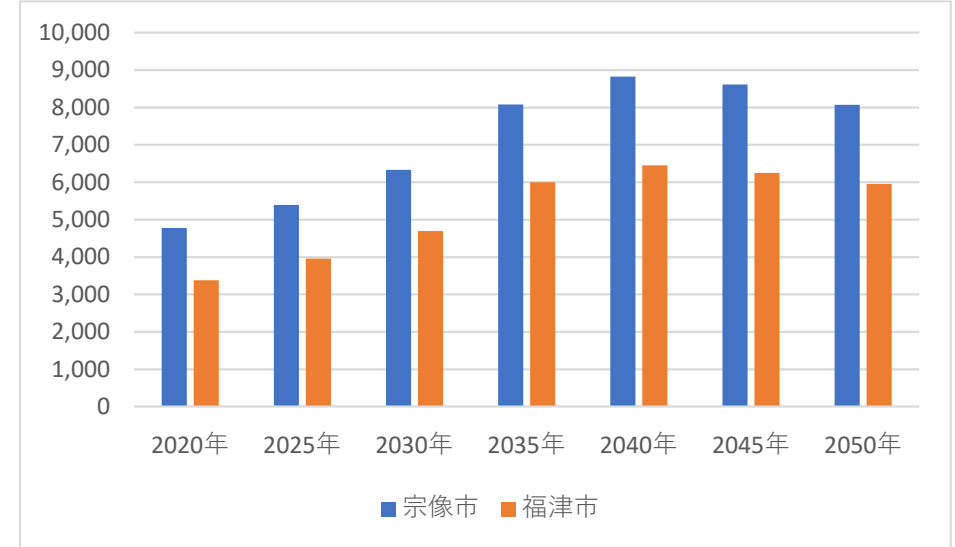
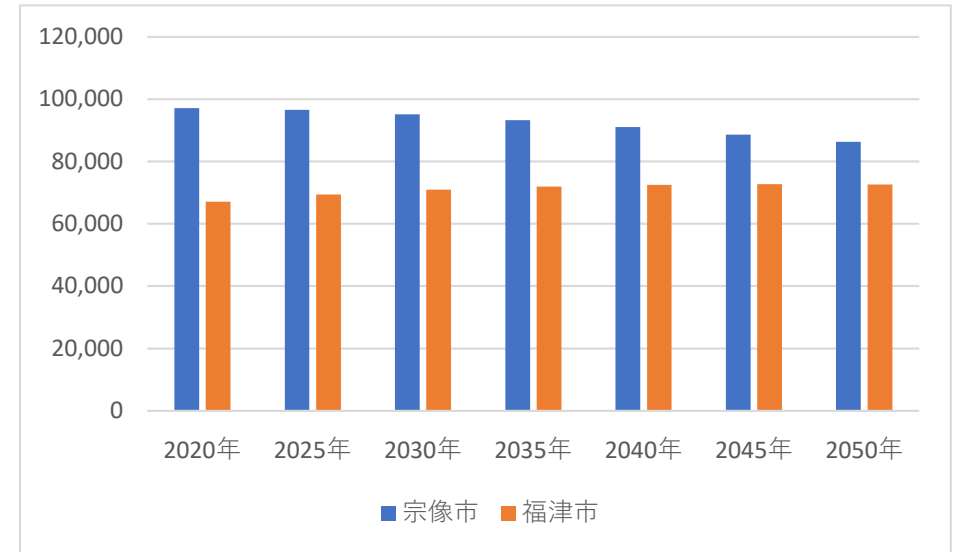
将来の男女5歳階級別推計人口(2020年は国勢調査による実績値)

総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
宗像市	97,095	96,578	95,170	93,258	91,040	88,631	86,259	11.2%
福津市	67,033	69,394	70,965	71,980	72,515	72,687	72,626	-8.3%
宗像計	164,128	165,972	166,135	165,238	163,555	161,318	158,885	3.2%

・宗像市は、2050年に向けて減少率11.2%と減少傾向、福津市は減少率-8.3%と増加傾向にあり、2020年から2050年の減少率は、圏域全体の人口総数で3.2%である

85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
宗像市	4,780	5,389	6,332	8,077	8,826	8,612	8,071	84.6%
福津市	3,377	3,958	4,696	5,998	6,452	6,249	5,955	91.1%
宗像計	8,157	9,347	11,028	14,075	15,278	14,861	14,026	87.3%

- ・いずれの市も2040年にピークを迎え、その後減少していく
- ・増加率(2020→2040)を市別で見ると、宗像市が84.6%、福津市が91.1%となっている



## 6. 市別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

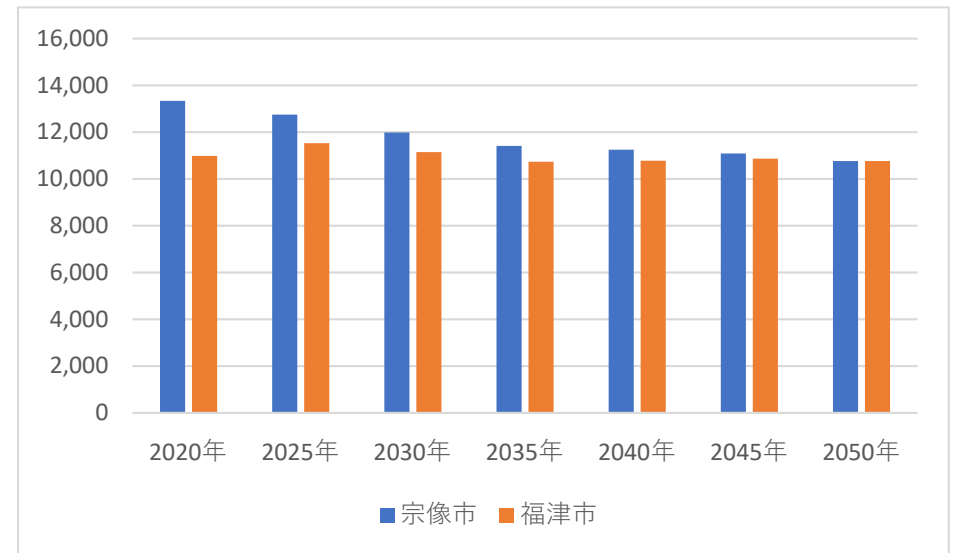
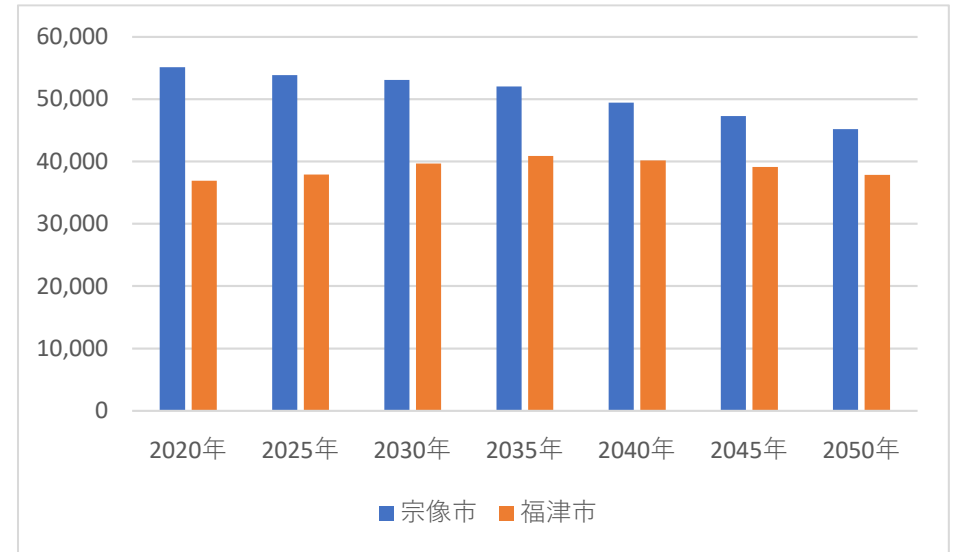
生産年齢人口 (15～64歳)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
宗像市	55,100	53,864	53,109	52,029	49,466	47,290	45,200	18.0%
福津市	36,898	37,931	39,700	40,895	40,185	39,128	37,858	-2.6%
宗像計	91,998	91,795	92,809	92,924	89,651	86,418	83,058	9.7%

・宗像市は2050年に向けて減少率18.0%と減少傾向、福津市は減少率-2.6%と増加傾向にあり、2020年から2050年の減少率は、宗像区域全体の人口総数で9.7%である

年少人口 (15歳未満)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
宗像市	13,346	12,748	11,982	11,409	11,249	11,084	10,760	19.4%
福津市	10,987	11,526	11,143	10,732	10,786	10,868	10,760	2.1%
宗像計	24,333	24,274	23,125	22,141	22,035	21,952	21,520	11.6%

・いずれの市も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市別で見ると、宗像市が19.4%、福津市が2.1%で、宗像市で減少幅が大きい



## 7. SCRの状況 (SCRが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの  
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(宗像地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	86.8%	50.0%	60.0%	A 基本診療科	45.8%	16.7%	20.0%
B 医学管理等	76.9%	46.2%	63.6%	B 医学管理等	20.0%	33.3%	9.1%
C 在宅医療	54.5%	45.5%	40.6%	C 在宅医療	8.7%	20.5%	12.9%
D 検査	65.7%	32.8%	46.0%	D 検査	8.5%	16.5%	11.6%
E 画像	100.0%	60.0%	70.0%	E 画像	0.0%	0.0%	0.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	33.3%	0.0%	0.0%
G 注射	62.5%	50.0%	76.9%	G 注射	8.3%	0.0%	0.0%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	33.3%	60.0%	28.6%
I 精神	66.7%	71.4%	50.0%	I 精神	100.0%	72.7%	71.4%
J 処置	66.3%	46.7%	67.1%	J 処置	32.2%	36.8%	26.5%
K 手術	76.1%	45.2%	73.6%	K 手術	16.6%	26.3%	16.7%
L 麻酔	60.0%	42.9%	58.3%	L 麻酔	16.7%	25.0%	18.2%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	0.0%	-	0.0%
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	12.5%	0.0%	0.0%

・SCRが100以上の項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:545(73.3%)、外来:232(43.5%)、入院+外来:255(60.7%)

[宗像]入院:102(20.5%)、外来:95(24.5%)、入院+外来62(16.3%)

・A~Nの分野ごとに見ると、宗像区域では「精神」が全て100以上である

## 7. SCRの状況 (SCRが90未満の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの  
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(宗像地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.3%	33.3%	20.0%	A 基本診療科	50.0%	50.0%	60.0%
B 医学管理等	23.1%	46.2%	27.3%	B 医学管理等	80.0%	50.0%	72.7%
C 在宅医療	36.4%	36.4%	37.5%	C 在宅医療	91.3%	71.8%	83.9%
D 検査	24.1%	47.0%	38.1%	D 検査	89.4%	77.1%	82.1%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%	E 画像	100.0%	75.0%	100.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%	F 投薬	66.7%	75.0%	66.7%
G 注射	31.3%	31.3%	15.4%	G 注射	91.7%	84.6%	84.6%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%	H リハビリテーション	50.0%	40.0%	57.1%
I 精神	33.3%	21.4%	37.5%	I 精神	0.0%	27.3%	28.6%
J 処置	25.0%	42.2%	22.9%	J 処置	61.0%	60.3%	67.6%
K 手術	13.7%	43.9%	15.5%	K 手術	79.5%	68.7%	77.1%
L 麻酔	33.3%	57.1%	41.7%	L 麻酔	83.3%	75.0%	72.7%
M 放射線治療	0.0%	60.0%	0.0%	M 放射線治療	100.0%	-	100.0%
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%	N 病理診断	87.5%	100.0%	85.7%

・SCRが90を下回る項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:137(18.4%)、外来:226(42.4%)、入院+外来:112(26.7%)

[宗像]入院:378(76.1%)、外来:267(68.8%)、入院+外来:292(76.6%)

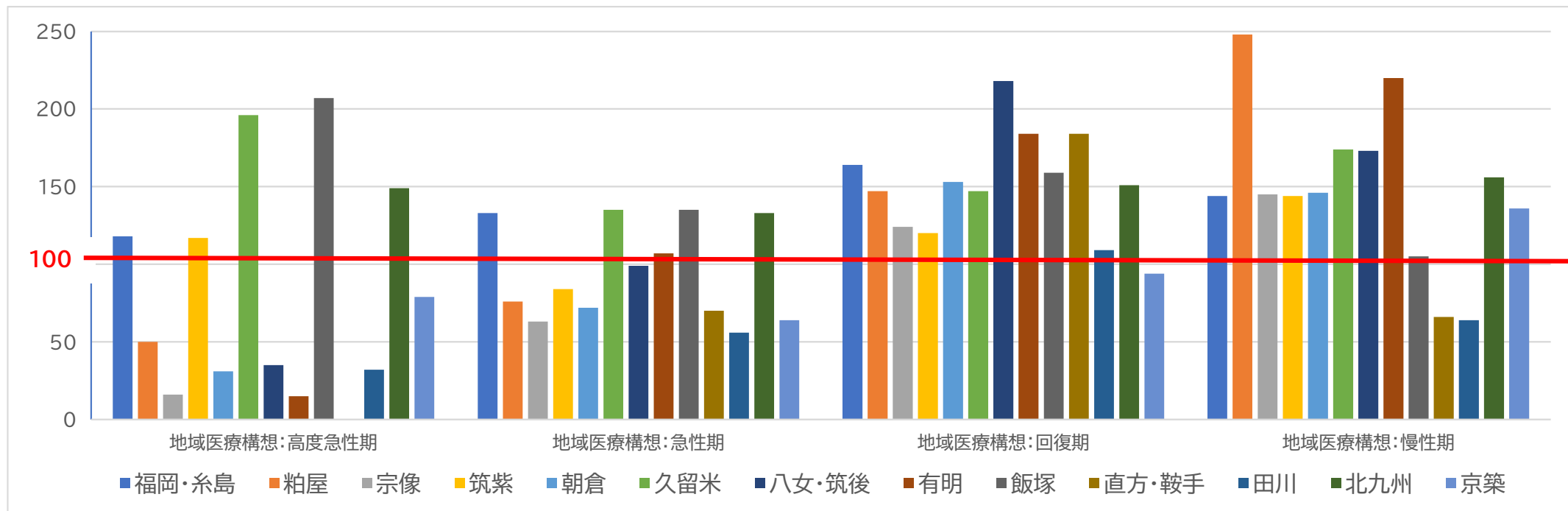
・宗像区域では、多くの分野で90を下回る項目が多い傾向があり、「放射線治療」、「画像」が全て90を下回っている

## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較①)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想:高度急性期	118	50	16	117	31	196	35	15	207		32	149	79
地域医療構想:急性期	133	76	63	84	72	135	99	107	135	70	56	133	64
地域医療構想:回復期	164	147	124	120	153	147	218	184	159	184	109	151	94
地域医療構想:慢性期	144	248	145	144	146	174	173	220	105	66	64	156	136

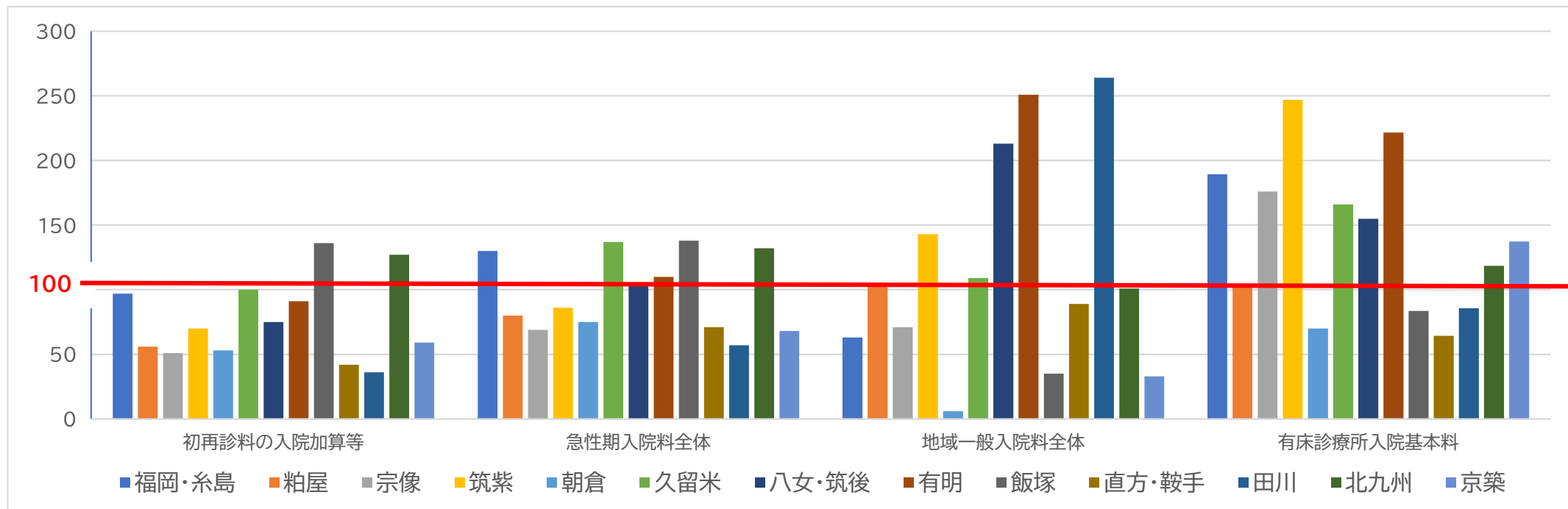


## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較②)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

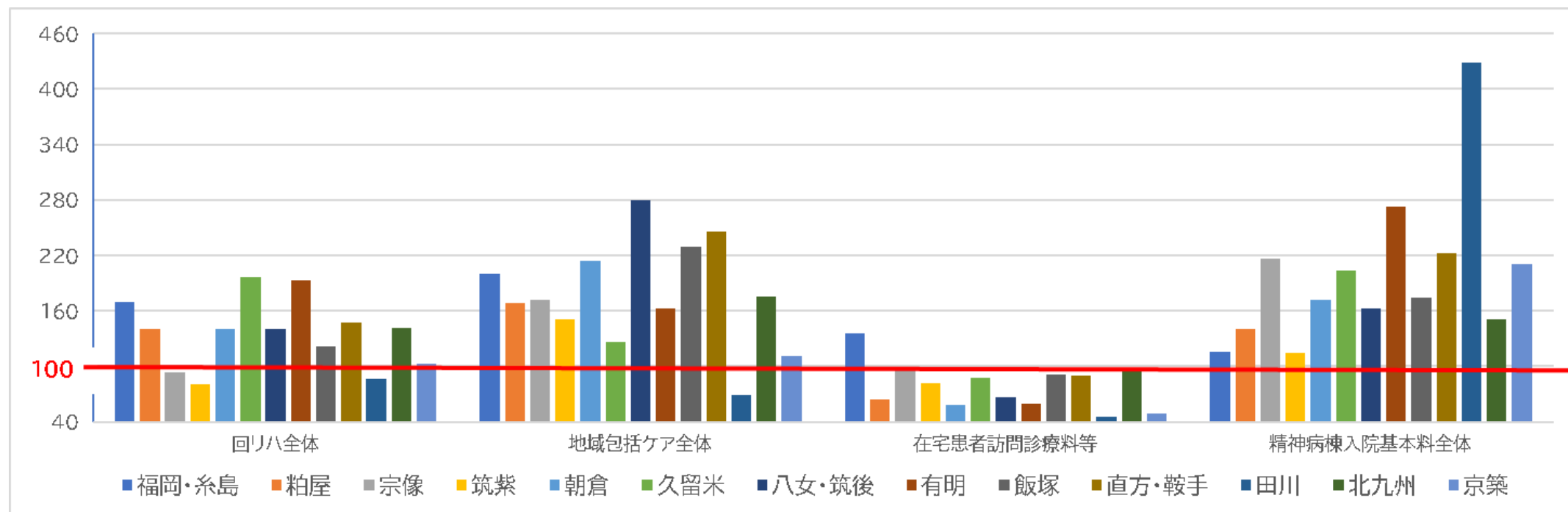
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診料の入院加算等	97	56	51	70	53	100	75	91	136	42	36	127	59
急性期入院料全体	130	80	69	86	75	137	105	110	138	71	57	132	68
地域一般入院料全体	63	103	71	143	6	109	213	251	35	89	264	101	33
有床診療所入院基本料	190	103	176	247	70	166	155	222	84	64	86	119	137



## 7. SCRの状況（各圏域ごとの比較③）

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)  
 (独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回り八全体	170	140	94	80	140	196	140	193	122	147	86	141	103
地域包括ケア全体	200	168	172	151	214	126	280	163	229	246	69	175	111
在宅患者訪問診療料等	136	64	99	82	58	88	66	60	91	90	46	98	49
精神病棟入院基本料全体	116	140	216	114	172	204	162	273	174	222	429	151	211

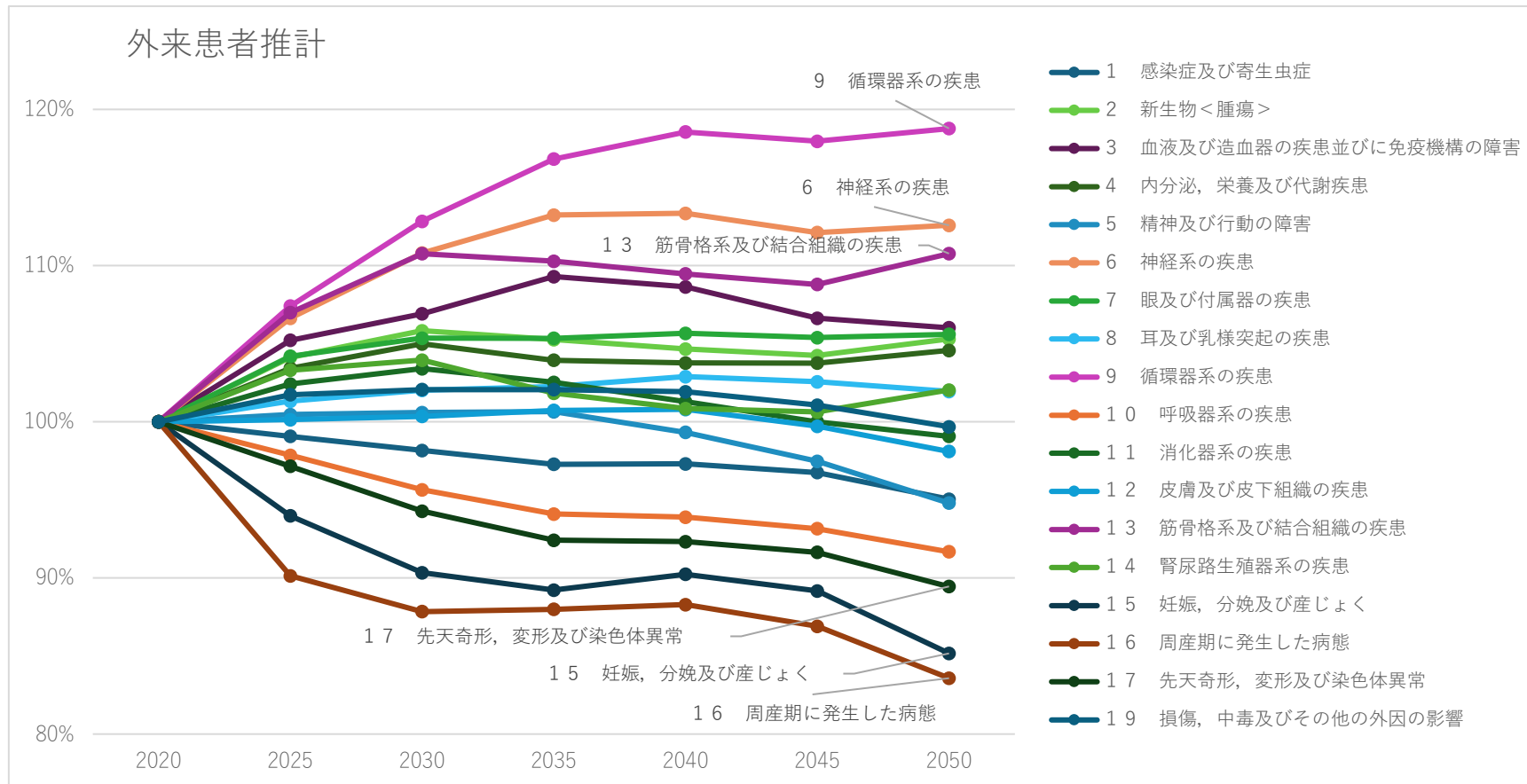


# 8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

宗像区域(市区町村別の患者推計は、別紙資料1を参照)

## 【外来患者推計】

循環、神経、筋骨格系については、2050年頃まで概ね増加が続くが、周産期、妊娠・分娩、先天奇形、変形及び染色体異常、呼吸器、消化器系は減少していく見込み  
それ以外については、2040年をピークに減少していく見込み



外来患者数は、多くの疾病が2050年時点で100%を上回っており、今後も外来患者は増え続けるものと思料

・増加率が大きい主な疾病は、次のとおり

系列9〔循環器系の疾患〕

(対応する診療科)  
→循環器内科、心臓血管外科

系列6〔神経系の疾患〕

(対応する診療科)  
→神経内科、脳神経外科

系列13〔筋骨格系及び結合組織の疾患〕

(対応する診療科)  
→外科、整形外科、リウマチ科

・減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

系列16〔周産期に発生した病態〕

系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕  
(対応する診療科)

→産婦人科、産科、婦人科

系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕

(対応する診療科)  
→小児科

系列10〔呼吸器系〕  
(対応する診療科)

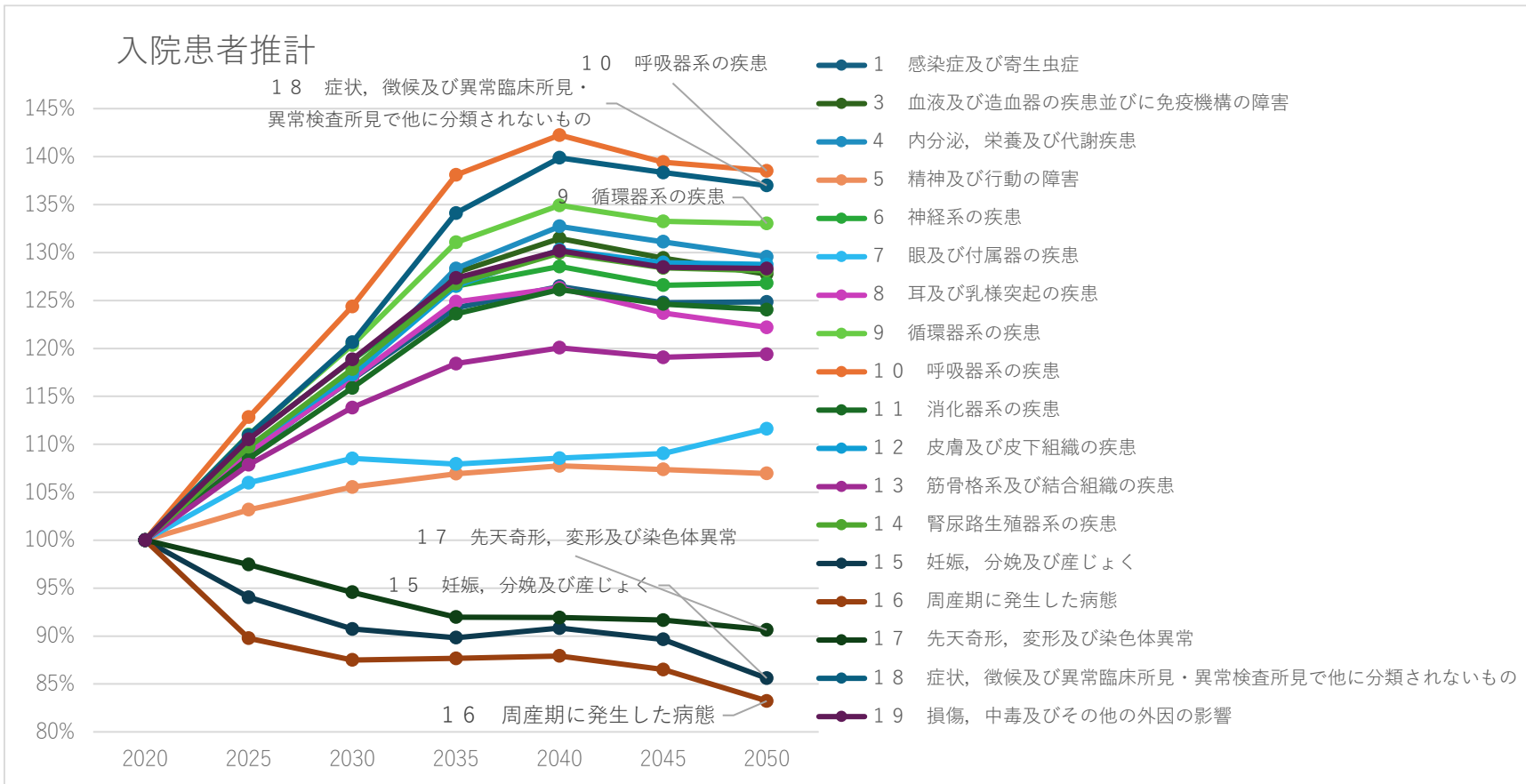
→呼吸器内科、呼吸器外科

# 8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

## 【入院患者推計】

周産期、妊娠・分娩、先天奇形、変形及び染色体異常系は、減少していく見込み

それ以外の疾病は2050年頃まで増加が続く見込み



2020年を基準とした入院患者数は、多くの疾病で、2050年時点で100%を上回っており、今後も入院患者は増え続けるものと思料

・2050年時点で、増加率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列10〔呼吸器系の疾患〕  
(対応する診療科)  
→呼吸器内科、呼吸器外科
- 系列9〔循環器系の疾患〕  
(対応する診療科)  
→循環器内科、心臓血管外科
- 系列4〔内分泌、栄養及び代謝疾患〕  
(対応する診療科)  
→糖尿病内科(代謝内科)
- 系列12〔皮膚及び皮下組織の疾患〕  
(対応する診療科)  
→皮膚科
- 系列19〔損傷、中毒及びその他の外因の影響〕  
(対応する診療科)  
→外科、整形外科、形成外科

・2050年時点で、減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕  
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕  
(対応する診療科)  
→小児科

## 9. 医療従事者数〔医師〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）※人口：福岡県人口移動調査（R4.12.1）

		医師数	人口10万人当たり
宗像市		153	157.4
	病院	79	81.3
	診療	74	76.1
福津市		132	192.8
	病院	89	130.0
	診療	43	62.8
宗像 計		285	172.1
	病院	168	101.4
	診療	117	70.6
福岡県 計		15,968	312.0
	病院	11,025	215.4
	診療	4,943	96.6

◆医師偏在指標及び県内・全国順位（県内二次保健医療圏、周産期医療圏、小児科）

		医師偏在指標		
		数値	県内順位	全国順位
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47
	粕屋	220.7	7/13	105/330
	宗像	198.4	10/13	168/330
	朝倉	202.0	9/13	152/330
	直方・鞍手	184.4	12/13	205/330
	北九州	301.6	4/13	38/330
産科	福岡県	11.0	—	12/47
	福岡	10.4	3/4	94/258
	筑後	11.6	2/4	71/258
	筑豊	8.7	4/4	147/258
	北九州	12.7	1/4	53/258
小児科	福岡県	122.0	—	16/47
	粕屋	81.7	11/13	250/303
	宗像	96.8	7/13	182/303
	朝倉	94.9	8/13	189/303
	直方・鞍手	81.5	12/13	251/303
	北九州	132.7	2/13	58/303

「福岡県医師確保計画（令和6年3月）「医師偏在指標及び県内・全国順位」から抜粋」

- ・人口10万人当たりの医師数が100を切っている市はないが、診療所勤務医師数は100を切っている
- ・医師偏在指標を見ると、宗像区域は医師全体の県内順位は10位と低位に、小児科医師は県内順位の7位とほぼ中位にある

## 9. 医療従事者数〔医師〕 診療所開設者年齢ピラミッド「公衆衛生等に係る医療の提供状況(令和5年9月福岡県医療指導課)」

年齢階級	福岡・糸島	粕屋	宗像	直方・鞍手	北九州	福岡県
90 -	9	0	0	0	6	23
85 - 89	20	1	5	1	3	43
80 - 84	22	2	4	1	18	74
75 - 79	59	4	3	8	39	208
70 - 74	167	18	5	9	88	466
65 - 69	175	24	6	16	138	550
60 - 64	201	30	24	10	117	544
55 - 59	169	18	6	4	102	419
50 - 54	119	11	8	4	74	321
45 - 49	108	13	11	2	30	243
40 - 44	46	8	1	2	30	121
35 - 39	14	0	0	3	5	31
30 - 34	6	0	2	0	0	9
- 29	1	0	0	0	0	1
Total	1,116	129	75	60	650	3,053

・診療所開設者の年齢ピラミッドを見ると、「60-64」がボリュームゾーンとなっており、他の区域に比べて、この年齢層に集中している

・医師不足や後継者確保(継承)の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか

## 10. 医療従事者数〔医師・診療科〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来 入院		減少	増加	増加	減少 減少	増加	増加	増加 増加	増加	増加 増加
	内科	精神科	整形外科	循環器内科	小児科	外科	眼科	脳神経外科	腎臓内科	心臓血管 外科
宗像市	50	11	17	9	9	4	7	7	7	3
福津市	27	25	6	10	7	7	4	3	1	5
宗像	77	36	23	19	16	11	11	10	8	8

外来 入院		増加	増加	減少 減少	減少 増加			減少 増加	増加	減少 増加
	消化器内科 (胃腸内科)	放射線科	泌尿器科	産婦人科	皮膚科	麻酔科	臨床研修医	消化器外科 (胃腸外科)	耳鼻 いんこう科	呼吸器内科
宗像市	5	4	1	2	2	2	-	3	2	3
福津市	2	3	5	4	3	3	5	1	2	-
宗像	7	7	6	6	5	5	5	4	4	3

外来 入院		減少		増加 増加	増加					
	脳神経内科	心療内科	乳腺外科	糖尿病内科 (代謝内科)	リウマチ科	形成外科	リハビリテー ション科	臨床検査科	救急科	その他
宗像市	1	-	1	1	1	-	-	-	-	1
福津市	1	2	1	-	-	1	1	1	1	1
宗像	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2

令和6年3月に策定した「福岡県外来医療計画」の構想区域の主な意見

- ・開業医の高齢化が進んでおり、不足している診療科の医師が死亡等により廃業した場合に、その診療科を補うことができない
- ・死体検案を特定の医師だけで担っている現状があり、当該医師にとって負担となっている

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

# 11. 医療従事者数〔常勤医師①〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)		
		常勤	非常勤				高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中				
宗像市	蜂須賀病院		14.2	63.0%	56.6	8	0	96	0	0	0	92.7%	1,278	救急告示	
		常勤	9												54
	非常勤	5.2	2.6	0											
	宗像医師会病院		23.3	86.0%	164.7	3.4	0	116	36	12	0	58.7%	600		救急告示
		常勤	20												
	非常勤	3.3	20.7	1.4											
	森都病院		8	38.0%	7	3	0	0	0	60	0	2.0%	0		
		常勤	3												
	非常勤	5	0	0											
	医療法人光洋会 赤間病院		7.7	52.0%	69.5	4.5	0	0	42	68	0	94.3%	0		
		常勤	4												
	非常勤	3.7	5.5	0.5											
	摩利支病院		5.1	39.0%	29.8	6.2	0	43	0	27	0	84.7%	*		
		常勤	2												
	非常勤	3.1	1.8	2.2											
	北九州宗像中央病院		10.3	68.0%	83.6	21	0	0	56	180	0	96.9%	0		
常勤		7	83											21	
非常勤	3.3	0.6	0												
あさの葉レディースクリニック		2.6	38.0%	3.5	2	0	13	0	0	0	133.0%	0			
	常勤	1											1	2	
非常勤	1.6	2.5	0												
東郷外科医院		1.1	91.0%	6	4.6	0	19	0	0	0	5.6%	0			
	常勤	1											5	4	
非常勤	0.1	1	0.6												
医療法人林外科医院		3	100.0%	3	8	0	0	19	0	0	0.0%	0			
	常勤	3											3	5	
非常勤	0	0	3												
医療法人社団春陽会渡辺整形外科医院		1	100.0%	0	5	0	0	0	0	19	0.0%	0			
	常勤	1											0	5	
非常勤	0	0	0												

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「\*」表記

救急告示

救急告示

# 11. 医療従事者数〔常勤医師②〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
宗像市	医療法人宗像セントラルクリニック	1	100.0%	8	0	0	14	0	0	0	2.0%	0	
		常勤											1
	非常勤	0	3	0									
	医療法人ふじい眼科クリニック	1	100.0%	3	1	0	0	1	0	0	0.0%	0	
常勤		1											3
非常勤	0	0	0										
福津市	宗像水光会 総合病院	68.5	80.0%	300	4	38	174	88	0	0	86.7%	3,106	
		常勤											55
	非常勤	13.5	16	1									
	医療法人静かな海の会 津屋崎中央病院	3.7	27.0%	9.6	1.4	0	0	0	40	0	85.7%	0	
		常勤											1
	非常勤	2.7	0.6	1.4									
	宮城病院	2	100.0%	38.1	3	0	0	60	60	0	82.6%	*	
		常勤											2
	非常勤	0	1.1	0									
	東福岡病院	4	50.0%	18.7	3.4	0	0	0	51	0	95.3%	0	
		常勤											2
	非常勤	2	1.7	0.4									
	医療法人寛晴会 上田医院	2.4	83.0%	4.5	3.6	0	0	19	0	0	110.3%	0	
		常勤											2
	非常勤	0.4	1.5	1.6									
	桑原整形外科医院	1.1	91.0%	5.3	3	0	0	14	0	0	42.5%	*	
常勤		1											4
非常勤	0.1	1.3	0										
医療法人宗隆会上妻整形外科医院	1.2	83.0%	4	1	0	0	0	0	19	11.5%	*		
	常勤											1	4
非常勤	0.2	0	0										
医療法人荒牧整形外科医院	1	100.0%	3.8	2.5	0	0	19	0	0	17.3%	*		
	常勤											1	3
非常勤	0	0.8	0.5										

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「\*」表記

救急告示

# 11. 医療従事者数〔常勤医師③〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
福津市	石田レディースクリニック		4.4	45.0%	4.8	6.9	0	13	0	0	0	110.5%	0
		常勤	2		3	4							
	非常勤	2.4	1.8	2.9									
		1.2	2.5	1.2									
医療法人福間諏訪クリニック	常勤	1	2	0	0	0	0	0	19	0.0%	0		
	非常勤	0.2	0.5	1.2									

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「\*」表記

## 12. 医療介護資源の状況 (日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版))

### ●【地域の概要】

一人当たり医療費(国保):404千円(偏差値57)

一人当たり介護給付費:226千円(偏差値39)

### ●【医療の現状】

病院数:14、人口10万人当たり8.5(偏差値55)

診療所数:124、人口10万人当たり76(偏差値47)

総医師数:370、人口10万人当たり225(偏差値42)

#### 専門医数

小児科:20、人口10万人当たり12.2(偏差値52)

産婦人科:8、人口10万人当たり4.9(偏差値40)

総合内科:26、人口10万人当たり15.8(偏差値42)

看護師数:1,595、人口10万人当たり972(偏差値52)

### ●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数:2,107、75歳以上1,000人当たり89(偏差値44)

(うち、介護保険施設定員:1,317、75歳以上1,000人当たり55(偏差値50))

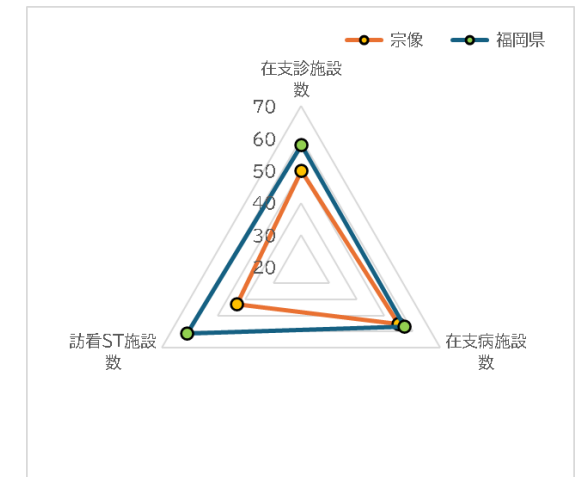
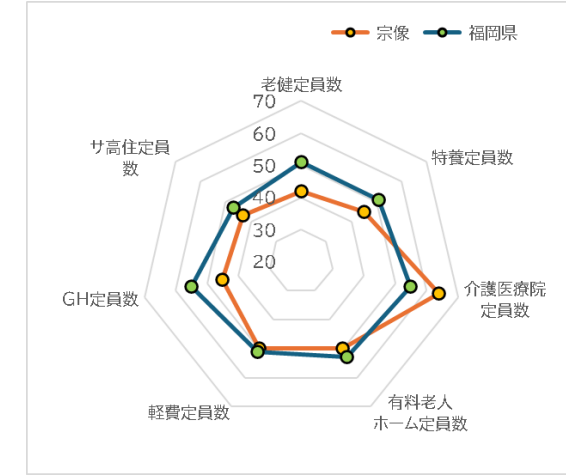
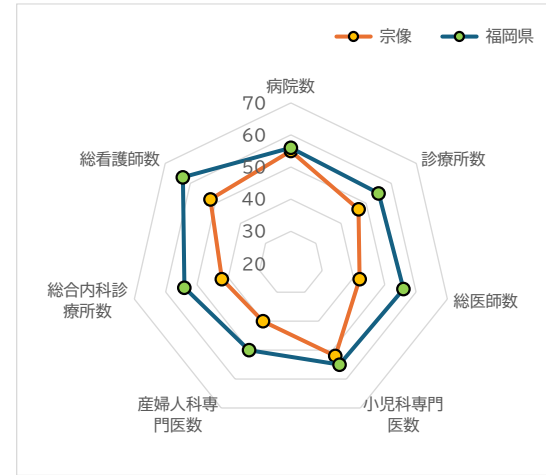
(うち、高齢者住宅定員:790、75歳以上1,000人当たり33(偏差値44))

介護職員数:1,559、75歳以上1,000人当たり66(偏差値45)

施設別定員数:老健施設345(偏差値42)、特養651(偏差値45)、介護医療院171(偏差値64)

(75歳以上1,000人当たり)有料13.7(偏差値50)、軽費1.2(偏差値50)、GH8.7(偏差値45)、サ高住9.6(偏差値43)

在宅ケア(施設数):在支診20(偏差値50)、在支病3(偏差値55)、訪看ST14(偏差値43)



## 12. 医療介護資源の状況 (厚生労働省「医療施設調査」)

### ●医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)(在宅療養支援診療所H26→R5推移)(訪問看護STはH29→R7推移)

医療施設数等	病院	一般診療所		在宅療養支援診療所	訪問看護ステーション
福岡県	461 → 453	4,654 → 4,806	866 → 767	493 → 1,086	
粕屋	26 → 26	174 → 192	29 → 28	24 → 36	
宗像	14 → 14	117 → 117	20 → 18	10 → 22	
直方・鞍手	12 → 12	103 → 100	19 → 18	11 → 25	
北九州	102 → 101	1,062 → 1,044	211 → 180	102 → 234	

出所:病院、診療所数は厚生労働省「医療施設調査(動態)(平成28年10月1日現在)」、「医療施設調査(静態・動態)(令和5年10月1日現在)」

出所:在宅療養支援診療所数は厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(平成26年、令和5年10月1日現在)」

出所:訪問看護ステーション数は県医療指導課データ

※1 在宅療養支援診療所数は、平成26年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年4月1日現在、令和7年7月1日現在の介護保険法に基づく指定数

### ●市別医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)

	病院数		一般診療所数	
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年
宗像市	8 →	9	73 →	67
福津市	6 →	5	44 →	50
宗像	14 →	14	117 →	117

### ●小児科標榜医療機関数(H26→R2推移)

	医療機関数			小児人口10万人対 医療機関数
	病院	診療所		
福岡県	361 → 361	96 → 97	265 → 264	53.4 → 55.9
粕屋	18 → 19	5 → 5	13 → 14	38.3 → 40.0
宗像	12 → 11	2 → 2	10 → 9	55.9 → 45.3
直方・鞍手	10 → 11	3 → 3	7 → 8	74.3 → 86.4
北九州	71 → 72	24 → 26	47 → 46	52.1 → 65.8

出所:「医療施設調査」(平成26年、令和2年)

※診療所は、「小児科が主たる診療科」+「小児科単科」。

### ●分娩取扱医療機関数(H26→R5推移)

医療施設数等	病院	診療所
福岡県	34 → 28	88 → 63
粕屋	1 → 1	5 → 5
宗像	1 → 0	4 → 3
直方・鞍手	0 → 0	1 → 1
北九州	10 → 8	18 → 9

出所:厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(各年10月1日現在)」(平成26年、令和5年)による

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万人当たり	病院 看護師数	人口 10万人当たり	診療所 看護師数	人口 10万人当たり
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

出典：厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

・総看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、宗像区域は、福岡県より少なく、全国より多い状況となっている

・勤務場所別で見ると、人口10万人当たり病院看護師は、県全体より少なく、全国より若干多い状況となっている

・人口10万人当たり診療所看護師は、県全体よりも少なく、全国より多いという状況である

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版)）

## ●介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (施設)	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (訪問)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	2,649	14.4	1,415	7.7	1235	6.7
粕屋	557	16.8	445	13.4	112	3.4
宗像	227	9.5	162	6.8	65	2.7
筑紫	498	9.8	269	5.3	228	4.5
朝倉	151	10.8	114	8.2	37	2.6
久留米	796	11.9	416	6.2	380	5.7
八女・筑後	256	11.7	174	8.0	82	3.8
有明	469	11.5	360	8.9	109	2.7
飯塚	370	12.7	255	8.8	115	3.9
直方・鞍手	307	15.6	194	9.8	114	5.8
田川	394	17.4	220	9.7	175	7.7
北九州	1,883	10.5	1,179	6.6	704	3.9
京築	394	12.9	294	9.6	101	3.3
福岡県	8,952	12.5	5,497	7.7	3455	4.8
全国	188,635	10.1	119,762	6.4	68873	3.7

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」(令和4年5月)

・介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、宗像区域は、県全体、全国より少ない状況となっている

・75歳以上1,000人当たり従事者数を勤務場所別で見ると、介護施設は6.8人と県全体よりも少なく、全国よりも多い状況となっている

・訪問看護は、2.7人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

## ●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	16,014	87.0	13,038	71.0	2976	16.2
粕屋	2,315	70.0	2,038	62.0	277	8.4
宗像	1,758	74.0	1,559	66.0	199	8.4
筑紫	3,653	72.0	3,131	62.0	523	10.3
朝倉	1282	92.0	1226	88.0	56	4.0
久留米	6,182	93.0	5,517	83.0	665	10.0
八女・筑後	2,199	101.0	1,964	90.0	235	10.8
有明	3,884	96.0	3,376	83.0	508	12.5
飯塚	2,833	97.0	2,361	81.0	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102.0	1753	89.0	252	12.8
田川	3,189	141.0	2,600	115.0	588	26.0
北九州	15,195	84.0	12,896	72.0	2299	12.8
京築	2,565	84.0	2,252	73.0	313	10.2
福岡県	63,075	88.0	53,711	75.0	9364	13.1
全国	1,556,622	84.0	1,327,531	71.0	229090	12.3

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、宗像区域は、県全体、全国よりも少ない状況となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設等は66.0人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

在宅についても8.4人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

## ●就業場所別の看護師数

福岡県	看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、宗像区域は、県平均よりも少ない状況となっている

・宗像区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で87%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

## ●就業場所別の准看護師数

福岡県	准看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	13,995	273.6		5,542	5,445	357	2,211	288	152
福岡・糸島	2,893	167.1	20.7%	1,146	1,126	74	457	60	31
粕屋	662	225.8	4.7%	262	258	17	105	14	7
宗像	337	203.4	2.4%	133	131	9	53	7	4
筑紫	757	171.5	5.4%	300	295	19	120	16	8
朝倉	297	368.1	2.1%	118	116	8	47	6	3
久留米	1,451	322.9	10.4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後	542	423.5	3.9%	215	211	14	86	11	6
有明	1,198	583.2	8.6%	474	466	31	189	25	13
飯塚	786	458.6	5.6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手	534	519.9	3.8%	211	208	14	84	11	6
田川	807	707.0	5.8%	320	314	21	127	17	9
北九州	3,014	285.9	21.5%	1,194	1,173	77	476	62	33
京築	717	396.6	5.1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、宗像区域は、県平均よりも少ない状況となっている

・宗像区域について、就業場所別に見ると、病院と診療所がほぼ同数で、次いで介護保険施設等となっており、病院と診療所で79%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したもの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

## 14. 在宅医療の状況

### 福岡県在宅療養支援診療所等調査(高齢者地域包括ケア推進課)

#### 【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

#### 【調査時期】

毎年5月～7月頃

#### 【回収状況】

令和5年度回答率94.9%

令和7年度回答率97.0%

#### 【項目の説明】

訪問診療:調査対象月1ヶ月間の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

小児:調査対象月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

在宅看取り:調査前年度1年間の在宅看取り(施設看取り含む)患者数(医療機関所在地ベース)の実数

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

## ●在宅医療機関数

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
福岡・糸島	401	17,824	210	2,456	423	21,874	333	2,790	22	4,050	123	334	101	193	20
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5
朝倉	37	571	7	79	36	728	12	97	-1	157	5	18	13	22	2
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2
飯塚	40	1,715	13	485	43	1,959	23	423	3	244	10	-62	10	22	4
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3
総数	1,329	43,954	339	8,001	1,363	53,599	663	8,544	34	9,645	324	543	296	694	82

・宗像区域の令和5年度調査による在宅医療への今後の意向は、「現在より積極的に取り組みたい」が6件、「現状維持」が20件、「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が1件という結果であり、令和5年度から7年度の推移を見ると、医療機関数の増加は0件で、概ね現状維持となっているものの、訪問診療患者数は増加している

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
福岡・糸島	849	531	89.1	620.1	7	(0.8%)	140	(16.5%)	203	(23.9%)	195	(23.0%)	175	(20.6%)	129	(15.2%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)
朝倉	80	50	5.6	55.6	2	(2.5%)	13	(16.3%)	22	(27.5%)	11	(13.8%)	16	(20.0%)	16	(20.0%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)
飯塚	101	56	10.0	66.0	1	(1.0%)	37	(36.6%)	18	(17.8%)	11	(10.9%)	17	(16.8%)	17	(16.8%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)
総数	2,517	1,666	244.6	1,910.6	27	(1.1%)	365	(14.5%)	557	(22.1%)	572	(22.7%)	566	(22.5%)	430	(17.1%)

・在宅医療を行う医師の年齢別割合を見ると、宗像区域では、「50~59歳」の割合が38.2%で最も高く、「40~49歳」、「60~69歳」の割合がいずれも23.5%となっており、「70歳以上」の割合は5.9%と他の区域の中で最も低くなっている

・宗像区域は、医師の8割以上が40歳~69歳の年齢層となっているが、今後、老年人口が増えて、在宅医療への需要が高まることが見込まれるため、在宅医療に従事する医師の確保を検討していく必要があるのではないか

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

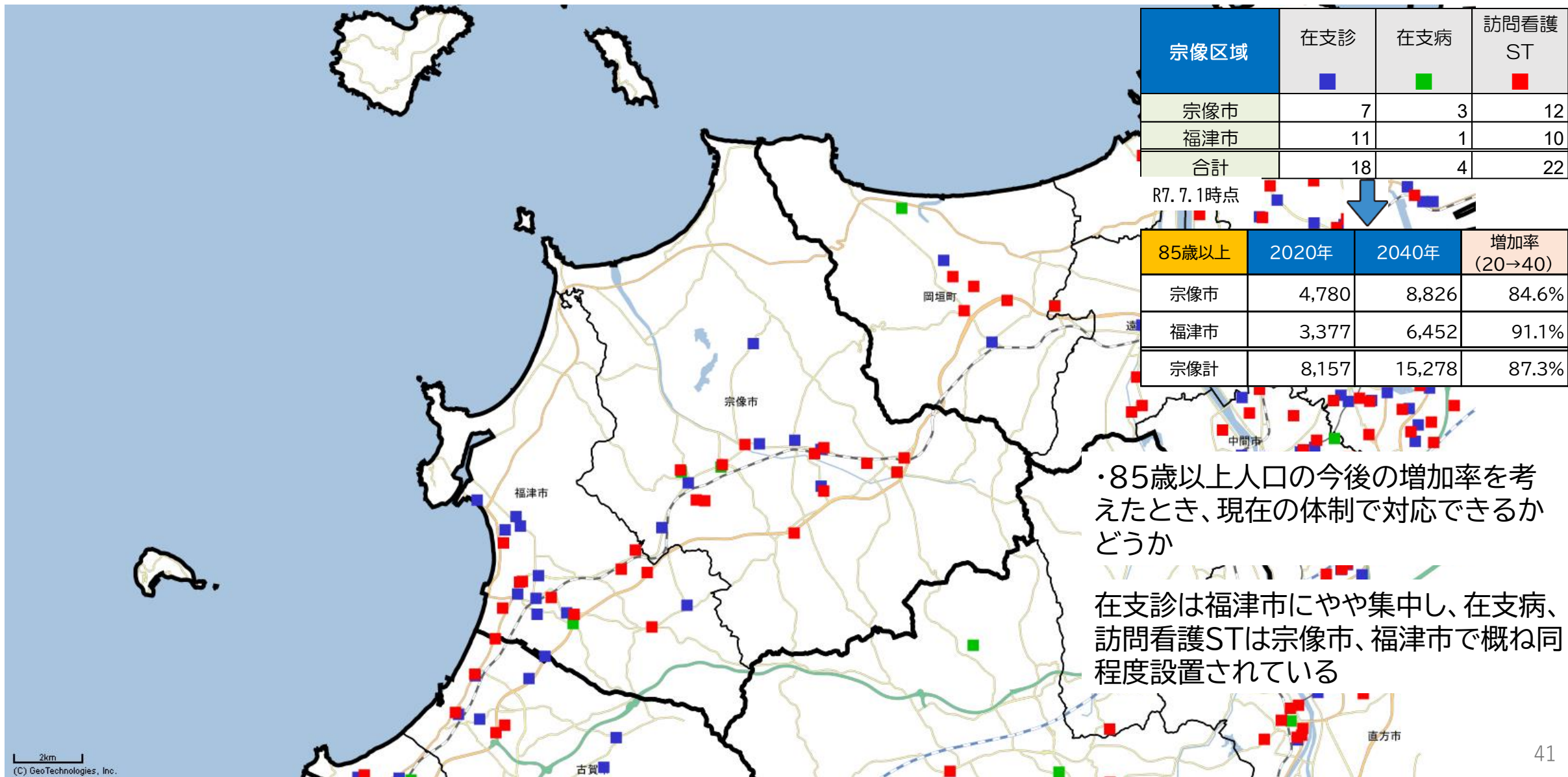
## ●在宅医療機関数(市別)

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
宗像市	15	570	21	138	16	594	41	119	1	24	20	-19	4	7	0
福津市	17	851	6	134	16	937	5	109	-1	86	-1	-25	2	13	1
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1

## ●在宅医療に従事する医師数(R7年度)(市別)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+非常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
宗像市	38	24	3.6	27.6	0	(0.0%)	3	(7.9%)	11	(28.9%)	14	(36.8%)	8	(21.1%)	2	(5.3%)
福津市	30	16	2.8	18.8	1	(3.3%)	2	(6.7%)	5	(16.7%)	12	(40.0%)	8	(26.7%)	2	(6.7%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)

# 14. 在宅医療の状況 (在支診、在支病、訪問看護STの位置)



宗像区域	在支診	在支病	訪問看護ST
宗像市	7	3	12
福津市	11	1	10
合計	18	4	22

R7. 7. 1時点

85歳以上	2020年	2040年	増加率 (20→40)
宗像市	4,780	8,826	84.6%
福津市	3,377	6,452	91.1%
宗像計	8,157	15,278	87.3%

・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか

在支診は福津市にやや集中し、在支病、訪問看護STは宗像市、福津市で概ね同程度設置されている

2km  
(C) GeoTechnologies, Inc.

## 15. 看護職員の状況

### 看護職員確保に係る実態調査(医療指導課医師・看護職員確保対策室)

#### 【調査対象】

(1)施設調査:6,451施設

病院(451)、診療所(4,205)、訪問看護ステーション(984)、介護老人保健施設(173)、介護老人福祉施設(439)、介護医療院(55)、障がい児者施設(施設入所・療養介護)(144)、その他(無回答含む)(48)

(2)看護職員調査:10,208人

上記施設に勤務する看護職員

#### 【調査方法】

対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答

#### 【調査時期】

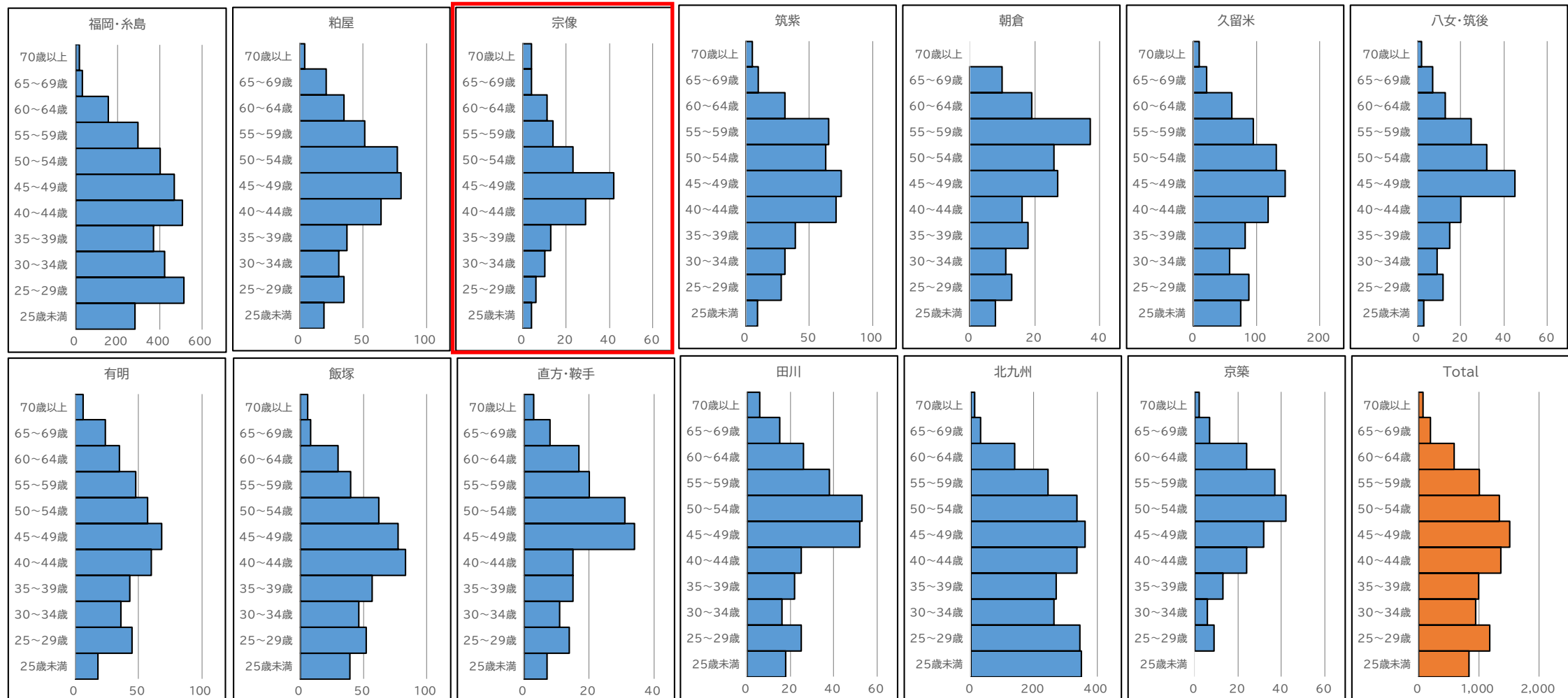
令和6年11月18日(月)～12月13日(金)

#### 【回収状況】

施設2,201件(回収率34.1%)／看護職員回収10,208人

# 15. 看護職員の状況 (医療指導課医師・看護職員確保対策室「看護職員確保に係る実態調査」)

## ●二次医療圏・年齢階級別看護師数



- ・宗像区域の年齢構成ピラミッドを見ると、40代後半に集中しており、その集中度が顕著である
- ・看護師確保の困難さが言及されているなか、このままの年齢構成で10~20年後を考えた際、医療提供体制を維持できるか

# 16. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表 (厚生労働省「患者調査-二次医療圏編」)

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28.8.1時点	R5.8.1時点	差	(増減割合)	H26調査	R5調査	差	H26調査	R5調査	差
福岡・糸島	1,648,241	1,740,857	92,616	(5.32%)	19.1	21.8	2.7	13.2	12.4	▲ 0.8
粕屋	285,000	292,622	7,622	(2.60%)	44.9	42.1	▲ 2.8	39.1	41.1	2.0
宗像	156,744	165,602	8,858	(5.35%)	35.3	33.5	▲ 1.8	34.7	40.9	6.2
筑紫	434,568	440,919	6,351	(1.44%)	33.5	30.6	▲ 2.9	37.2	40.6	3.4
朝倉	83,209	80,348	▲ 2,861	(▲3.56%)	21.3	22.5	1.2	42.1	30.0	▲ 12.1
久留米	455,840	447,316	▲ 8,524	(▲1.91%)	34.5	31.8	▲ 2.7	23.9	22.8	▲ 1.1
八女・筑後	132,283	127,106	▲ 5,177	(▲4.07%)	25.0	27.3	2.3	29.4	34.9	5.5
有明	220,974	202,644	▲ 18,330	(▲9.05%)	20.0	18.4	▲ 1.6	21.8	18.9	▲ 2.9
飯塚	180,023	170,014	▲ 10,009	(▲5.89%)	21.9	23.5	1.6	26.8	25.9	▲ 0.9
直方・鞍手	108,047	101,892	▲ 6,155	(▲6.04%)	25.0	25.8	0.8	36.5	40.4	3.9
田川	124,830	112,634	▲ 12,196	(▲10.83%)	21.1	27.3	6.2	22.4	28.4	6.0
北九州	1,091,345	1,046,238	▲ 45,107	(▲4.31%)	8.2	9.0	0.8	7.7	7.3	▲ 0.4
京築	184,053	179,800	▲ 4,253	(▲2.37%)	20.3	20.2	▲ 0.1	33.2	28.4	▲ 4.8
福岡県	5,105,157	5,107,992	2,835	(0.06%)	21.5	22.0	0.5	20.4	20.5	0.1

宗像区域は、H28年からR5年の7年間で人口が8,858人(5.4%)増加し、他区域の中で最も人口増加率が高い

この7年間で推計流入患者割合は1.8ポイント減少、推計流出患者割合は6.2ポイント増加するなど、他区域の中で患者の流出率が最も高い割合となっている

※ 人口:福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成28年8月1日現在、令和5年8月1日現在)

※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合:厚生労働省「患者調査」(平成26年10月、令和5年10月)

病院の推計入院患者数の圏内への流入患者割合・圏外への流出患者割合、二次医療圏内・二次医療圏外が不詳の者を推計患者数から除いて算出

## 17. 二次救急及び急患センターの位置(隣接区域含む)



・宗像医療圏は、粕屋医療圏、直方・鞍手医療圏、北九州医療圏と接している

・医療の状況を見ると、宗像医療圏内には、3つの二次救急(蜂須賀病院、宗像医師会病院(宗像市)、宗像水光会総合病院(福津市)と、1つの急患センター(宗像地区急患センター)がある

・隣接する粕屋医療圏には、23の二次救急と2つの急患センター(粕屋中南部休日診療所、粕屋北部休日診療所)があり、JR沿線に独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター、北九州古賀病院などが立地している

# 18. 人口メッシュ(500m) (2020年(令和2年)「国勢調査」)

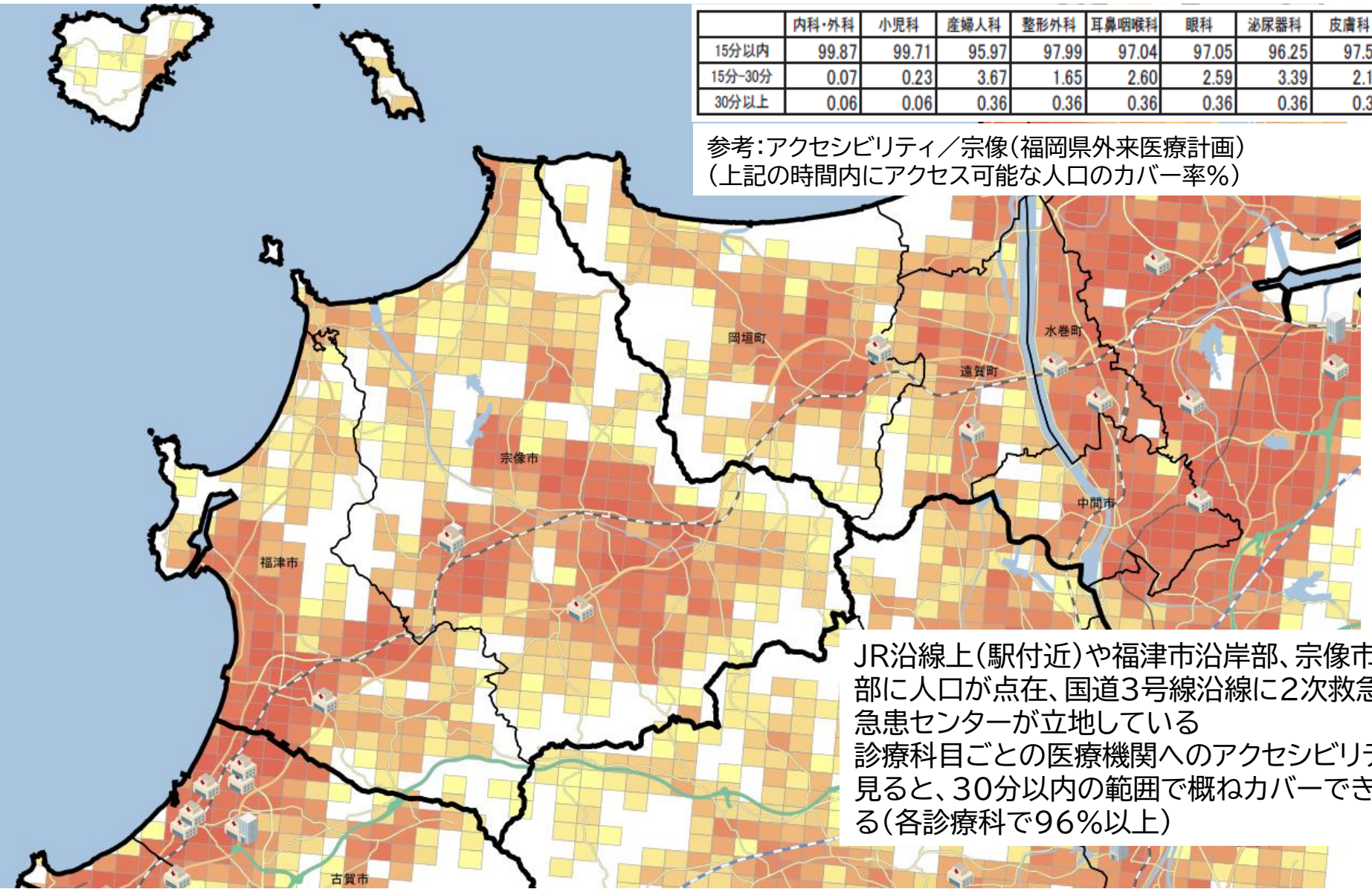
	内科・外科	小児科	産婦人科	整形外科	耳鼻咽喉科	眼科	泌尿器科	皮膚科	精神科
15分以内	99.87	99.71	95.97	97.99	97.04	97.05	96.25	97.50	97.19
15分-30分	0.07	0.23	3.67	1.65	2.60	2.59	3.39	2.14	2.45
30分以上	0.06	0.06	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36

参考:アクセシビリティ/宗像(福岡県外来医療計画)  
(上記の時間内にアクセス可能な人口のカバー率%)

**500mメッシュ  
国勢調査人口(20)**

- 1,370人以上
- 663人以上
- 348人以上
- 197人以上
- 115人以上
- 69人以上
- 39人以上
- 19人以上
- 7人以上
- 1人以上

※0人のエリアは無色



JR沿線上(駅付近)や福津市沿岸部、宗像市内陸部に人口が点在、国道3号線沿線に2次救急病院、急患センターが立地している  
診療科目ごとの医療機関へのアクセシビリティを見ると、30分以内の範囲で概ねカバーできている(各診療科で96%以上)

2km  
(C) GeoTechnologies, Inc.

## 19. 救急搬送の状況① (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	年齢区分					居住地		
		新生児(人、割合)	乳幼児(人、割合)	少年(人、割合)	成年(人、割合)	高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	その他(人、割合)
宗像地区消防本部	6,270	22 (0.4%)	323 (5.2%)	261 (4.2%)	1,551 (24.7%)	4,113 (65.6%)	5,677 (90.5%)	590 (9.4%)	3 (0.0%)
福岡県	254,728	687 (0.3%)	10,824 (4.2%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医診断						軽傷に占める
	死亡(人、割合)	重篤(人、割合)	重症(人、割合)	中等症(人、割合)	軽症(人、割合)	その他(人、割合)	高齢者数(人、割合)
宗像地区消防本部	0 (0.0%)	0 (0.0%)	319 (5.1%)	3,539 (56.4%)	2,412 (38.5%)	0 (0.0%)	1,330 (55.1%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)	175 (0.1%)	48,147 (47.7%)

- ・搬送人員を年齢区分別に見ると、宗像区域、県ともに高齢者の割合が高い  
→ 宗像65.6%、県62.4%
- ・症状別では、宗像区域、県ともに大きな差はない
- ・「軽症に占める高齢者の割合」は、宗像区域で県よりも高い割合となっている  
→ 宗像55.1%、県47.7%

## 19. 救急搬送の状況② (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	うち 高齢者 (人)	高齢者の発生場所							
			住宅 (人、割合)	公衆出入の場所(人、割合)			仕事場 (人、割合)	道路 (人、割合)	その他 (人、割合)	
				うち病院・病床数 20以上の医療機関 (人、割合)	うち病床数19以下 の診療所、医院 (人、割合)	うち老人ホーム、老 人保健施設等の老 人の収容施設 (人、割合)				
宗像地区消防本部	6,270	4,113	2,680 (65.2%)	1,120 (27.2%)	267 (6.5%)	92 (2.2%)	565 (13.7%)	34 (0.8%)	240 (5.8%)	39 (0.9%)
福岡県	254,728	159,027	98,559 (62.0%)	48,121 (30.3%)	11,316 (7.1%)	4,613 (2.9%)	25,245 (15.9%)	1,237 (0.8%)	10,086 (6.3%)	1,024 (0.6%)

- ・高齢者の救急搬送件数を救急要請の発生場所別に見ると、県全体、宗像区域ともに、「住宅」が最も割合が高い  
→宗像65.2%、県62.0%
- ・次が「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」である

## 19. 救急搬送の状況③ (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	収容平均所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数				搬送先		
			1回(人、割合)	2回(人、割合)	3回(人、割合)	4回以上(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	
宗像地区消防本部	6,270	36.42	5,454 (87.0%)	545 (8.7%)	156 (2.5%)	115 (1.8%)	80 (69.6%)	4,284 (68.3%)	1,986 (31.7%)
福岡県	246,430	37.91	196,547 (79.8%)	31,515 (12.8%)	12,679 (5.1%)	13,987 (5.7%)	9,051 (64.7%)	201,365 (81.7%)	53,363 (21.7%)

### 【宗像地区消防本部の主な搬送先】

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占 める割合	うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 宗像水光会総合病院	福津市	2,604	41.5%	35.5%	59.4%	5.1%
2位 福岡東医療センター	古賀市	1,290	20.6%	34.0%	59.9%	6.1%
3位 蜂須賀病院	宗像市	1,003	16.0%	63.5%	31.8%	4.7%
4位 宗像医師会病院	宗像市	513	8.2%	27.7%	68.0%	4.3%
5位 福岡和白病院	福岡市	181	2.9%	34.8%	61.3%	3.9%
1位～5位の合計		5,591	89.2%	39.4%	55.4%	5.2%
総計		6,270	100.0%	38.5%	56.4%	5.1%

・収容平均所要時間は、県全体が37.9分、宗像地区消防本部が36.4分で、県に比べても大きな差はない

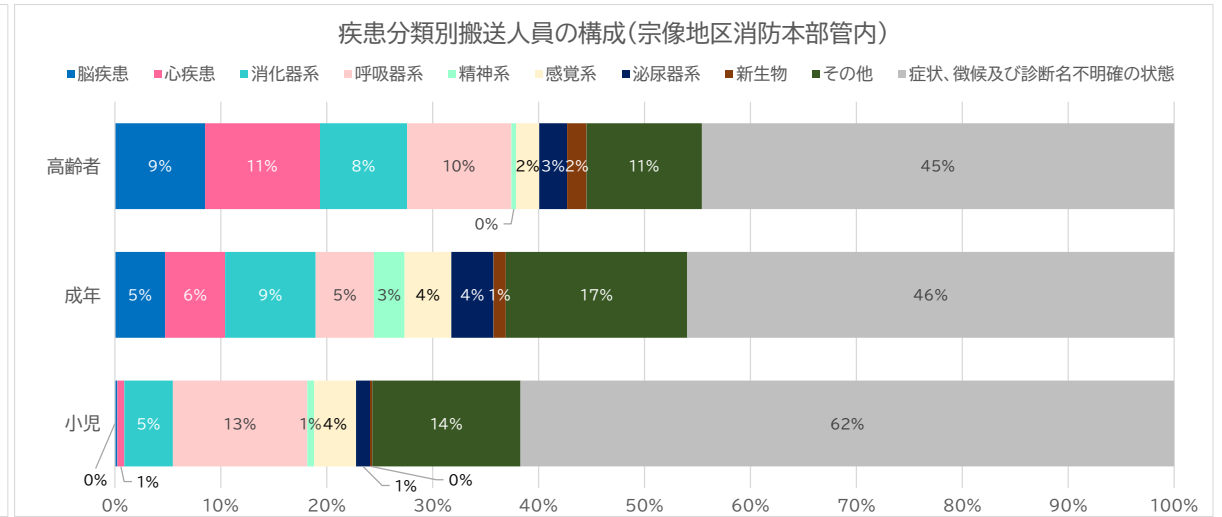
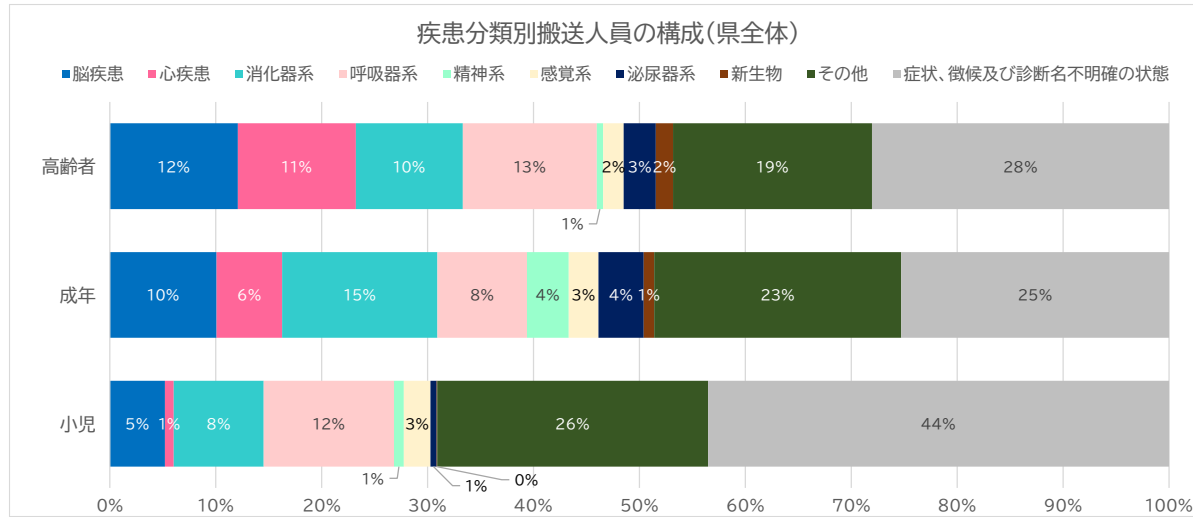
※収容平均所要時間とは、救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間

・搬送決定までの連絡回数は、1回が県79.8%、宗像区域が87.0%、4回以上かかる人数は、県が5.7%、宗像区域が1.8%と、宗像区域の方が少ない連絡回数での搬送となっている。ただし、4回以上かかる人数のうち高齢者の割合は、県よりも宗像地区が5ポイントほど高い

・宗像地区消防本部の主な搬送先は、域内の「宗像水光会総合病院」が42%、「蜂須賀病院」が16.0%、域外の「福岡東医療センター(古賀市)」が20.6%で、この3つの医療機関で搬送先の約8割を占めている

# 19. 救急搬送の状況④ (令和5年「福岡県消防年報」)

## ● 疾患分類別搬送人員の構成



# 19. 救急搬送の状況⑤ (令和5年「福岡県消防年報」)

## ● 小児(新生児、乳幼児、少年の計)に係る宗像区域内の各消防本部の搬送状況

\* 搬送人員が10人以上の医療機関のうち、上位3位を集計

宗像地区消防本部

救急患者: 606人(うち 搬送先 管内190人(31.4%)、管外416人(68.6%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 蜂須賀病院	72人	37.9%
2位 宗像地区急患センター	62人	32.6%
3位 宗像水光会総合病院	38人	20.0%
1~3位の合計	172人	90.5%
管内総計	190人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 国立福岡東医療センター	古賀市	275人	66.1%
2位 福岡市立こども病院	福岡市	60人	14.4%
3位 北九州市立八幡病院	北九州市	42人	10.1%
1~3位の合計		377人	90.6%
管外総計		416人	100.0%

【参考】宗像地区消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	531人 (87.6%)
2回	59人 (9.7%)
3回	12人 (2.0%)
4回以上	4人 (0.7%)

収容平均所要時間 38.35分

【参考】福岡県平均

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	16,559人 (82.1%)
2回	2,254人 (11.2%)
3回	765人 (3.8%)
4回以上	587人 (2.9%)

収容平均所要時間 37.55分

## ● 小児に係る宗像区域内の医療機関への搬送患者の状況

病院名	搬送患者数	搬送先					
		1位		2位		3位	
1位 蜂須賀病院	86人	宗像地区消防本部	83.7%	直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部	8.1%	遠賀郡消防本部	7.0%
2位 宗像地区急患センター	62人	宗像地区消防本部	100.0%	-	-	-	-
3位 宗像水光会総合病院	49人	宗像地区消防本部	77.6%	粕屋北部消防本部	14.3%	遠賀郡消防本部	6.1%

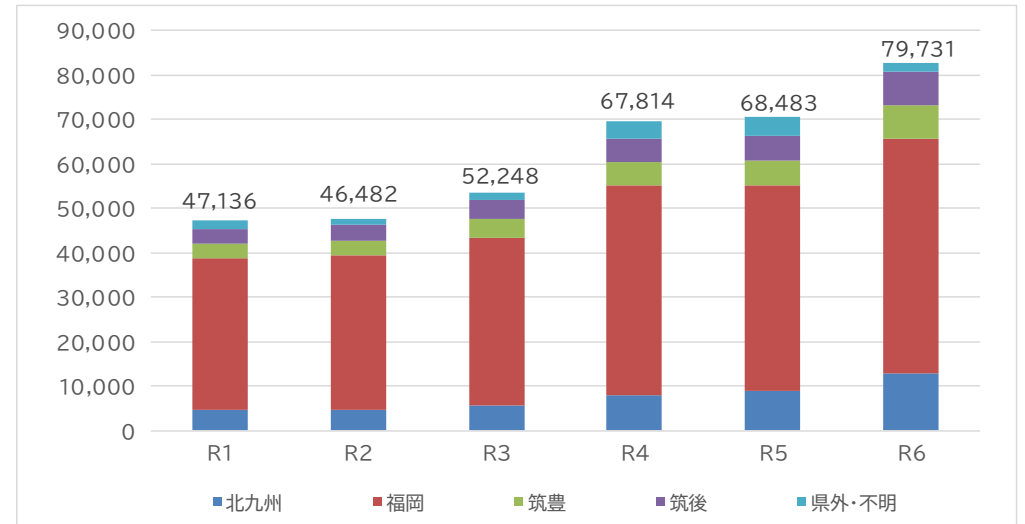
## 20. 救急医療電話相談利用件数

### ●福岡県救急電話相談事業( # 7119)市別利用件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	4,716	4,473	5,728	7,984	8,731	12,650	168.2%
福岡	33,951	35,026	37,704	47,051	46,369	53,038	56.2%
筑豊	3,341	2,292	2,739	3,688	3,588	4,413	32.1%
筑後	3,354	3,315	4,134	5,334	5,670	7,526	124.4%
県外・不明	1,774	1,376	1,943	3,757	4,125	2,104	18.6%
福岡県計	47,136	46,482	52,248	67,814	68,483	79,731	69.2%

福岡県のR6年度の「# 7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1万1,248件増加し、過去最多の7万9,731件となった

福岡地域のR6年度の「# 7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から6,669件増加し、過去最多の5万3,038件となった

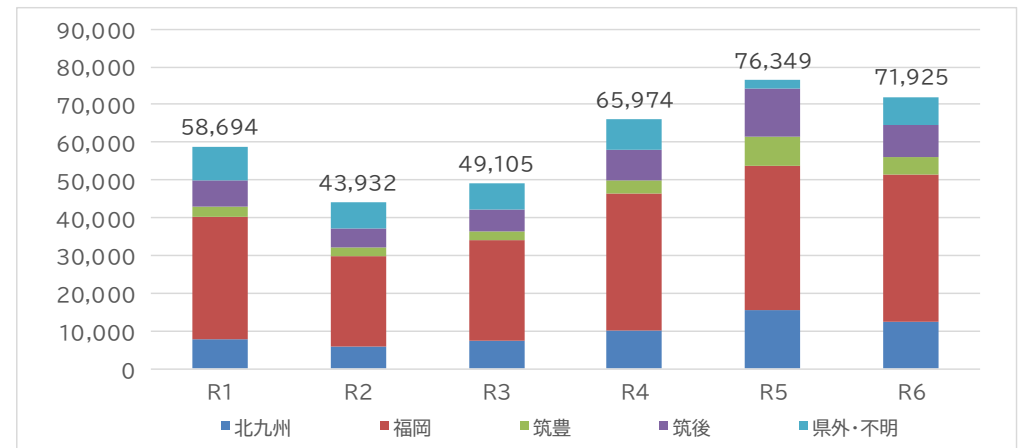


### ●福岡県小児救急医療電話相談( # 8000)件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	7,615	5,869	7,334	10,265	15,449	12,596	65.4%
福岡	32,539	24,063	26,695	36,142	38,283	38,759	19.1%
筑豊	2,843	2,230	2,472	3,546	7,872	4,544	59.8%
筑後	6,919	4,795	5,651	8,177	12,649	8,656	25.1%
県外・不明	8,778	6,975	6,953	7,844	2,096	7,370	-16.0%
福岡県計	58,694	43,932	49,105	65,974	76,349	71,925	22.5%

福岡県の「# 8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7万6,349件である

福岡地域の「# 8000」の相談件数はR2年度から一貫して増加傾向にあり、R6年度は過去最多の3万8,759件となった



\*地域別の件数は相談者居住地による相談件数

## 21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術あり) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査(R5.4月～R6.3月)」)

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: (医) 庄正会蜂須賀病院 (51.3%)、宗像水光会総合病院 (48.7%)
眼科系 (02)	: 宗像水光会総合病院 (100.0%)
耳鼻科系 (03)	: —
呼吸器系 (04)	: 宗像水光会総合病院 (100.0%)
循環器系 (05)	: 宗像水光会総合病院 (100.0%)
消化器系 (06)	: 宗像医師会病院 (49.6%)、宗像水光会総合病院 (48.9%)
筋骨格系 (07)	: 宗像水光会総合病院 (64.2%)、(医) 庄正会蜂須賀病院 (35.8%)
皮膚系 (08)	: 宗像水光会総合病院 (100.0%)
乳房系 (09)	: 宗像水光会総合病院 (74.4%)、宗像医師会病院 (25.6%)
内分泌系 (10)	: 宗像水光会総合病院 (100.0%)
腎尿路系 (11)	: 宗像水光会総合病院 (95.6%)
女性系 (12)	: 宗像水光会総合病院 (100.0%)
血液系 (13)	: —
新生児系 (14)	: —
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 宗像水光会総合病院 (54.2%)、(医) 庄正会蜂須賀病院 (45.8%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: 宗像水光会総合病院 (100.0%)

## 21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術なし) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査(R5.4月～R6.3月)」)

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: (医) 庄正会蜂須賀病院 (56.1%)、宗像水光会総合病院 (36.8%)
眼科系 (02)	: —
耳鼻科系 (03)	: 宗像水光会総合病院 (45.3%)、宗像医師会病院 (33.0%)、(医) 庄正会蜂須賀病院 (21.7%)
呼吸器系 (04)	: 宗像水光会総合病院 (60.4%)、宗像医師会病院 (29.9%)、(医) 原道会摩利支病院 (6.8%)
循環器系 (05)	: 宗像水光会総合病院 (78.6%)、宗像医師会病院 (14.0%)、(医) 原道会摩利支病院 (7.4%)
消化器系 (06)	: 宗像水光会総合病院 (47.4%)、宗像医師会病院 (45.1%)、(医) 原道会摩利支病院 (7.5%)
筋骨格系 (07)	: 宗像水光会総合病院 (43.9%)、宗像医師会病院 (35.4%)、(医) 庄正会蜂須賀病院 (20.7%)
皮膚系 (08)	: 宗像水光会総合病院 (100.0%)
乳房系 (09)	: 宗像医師会病院 (100.0%)
内分泌系 (10)	: 宗像水光会総合病院 (56.8%)、宗像医師会病院 (23.3%)、(医) 原道会摩利支病院 (19.9%)
腎尿路系 (11)	: 宗像水光会総合病院 (77.4%)、宗像医師会病院 (22.6%)
女性系 (12)	: 宗像水光会総合病院 (100.0%)
血液系 (13)	: 宗像医師会病院 (44.4%)、宗像水光会総合病院 (41.3%)、(医) 原道会摩利支病院 (14.3%)
新生児系 (14)	: —
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 宗像水光会総合病院 (49.8%)、(医) 庄正会蜂須賀病院 (31.0%)、宮城病院 (10.6%)
精神系 (17)	: 宗像医師会病院 (100.0%)
その他 (18)	: 宗像水光会総合病院 (56.1%)、宗像医師会病院 (43.9%)